

I. 沿革



明治34年（1901）		大倉美術館 竣工
明治35年（1902）	1月頃	大倉美術館 徐々に観覧に供す
明治36年（1903）	6月14日	大倉美術館 開会式
大正6年（1917）	8月15日	財団法人 大倉集古館 設立
	8月30日	財団法人 大倉集古館 文部省認可
大正7年（1918）	5月 1日	財団法人 大倉集古館 開会式
大正12年（1923）	9月 1日	関東大震災により建物倒壊
大正15年（1926）	1月20日	再建工事着工（伊東忠太設計、大倉土木株式会社施工）
昭和2年（1927）	11月 2日	大倉集古館 竣工
昭和3年（1928）	4月22日	創設者 大倉喜八郎 逝去
	10月23日	大倉集古館 再開館
昭和28年（1953）	4月20日	東京都教育委員会に、博物館法第12条により博物館登録（第6号）
昭和34年（1959）	9月25日	東京都教育委員会の基本財産の一部処分承認を得て、大成観光株式会社（ホテルオークラ）と土地売買契約を締結し、建物改修計画に着手
昭和35年（1960）	1月～	収蔵庫、事務所新築のため休館
	12月13日	財団法人大倉文化財団と改称。館の名称を大倉集古館とする
昭和36年（1961）	4月10日	収蔵庫並びに事務所竣工
	4月～	陳列館改装、庭園整備、屋外展示品の配列替え工事を行う
昭和37年（1962）	5月11日	大改修工事完了し、創設45周年記念式典を兼ね、開館式典を行う
昭和38年（1963）	2月 2日	理事長 大倉喜七郎 逝去
平成2年（1990）	1月16日	大倉集古館陳列館 東京都選定歴史的建造物となる
平成9年（1997）	3月10日～	陳列館・収蔵庫改修工事のため休館 （小杉英男建築研究室設計、大成建設施工）
	10月 1日	リニューアルオープン
平成10年（1998）	9月 2日	大倉集古館陳列館 文化財登録原簿に登録される （登録有形文化財）
平成11年（1999）	4月 5日	「私立美術館における青少年に対する学習機会の充実に関する基準」（平成9年文部省告示第54号）第2条に規定する（望ましい基準）を満たしていると認定される
平成12年（2000）	5月 1日	東京都教育委員会より「特定公益増進法人」に認定される
平成14年（2002）	11月5日～	収蔵庫改修工事のため休館
	15年4月25日	
平成23年（2011）	4月 1日	東京都より公益財団法人と認定され、公益財団人大倉文化財団となる
平成26年（2014）	3月31日～	増改築工事のため休館
令和元年（2019）	9月12日～	リニューアルオープン

II. 事業報告

1. 展覧会事業・普及事業

令和5(2023)年度(1)

特別展 愛のヴィクトリアン・ジュエリー —華麗なる英国のライフスタイル—

会 期：令和5(2023)年4月4日(火)～6月25日(日)

※4/3(月)は内覧会

開館時間：10時～17時

開催日数：73日間 ※内覧会1日含む

入場者数：14,363人(1日平均約196.8人)

観 覧 料：一般1,300円、大学・高校生1,000円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室、地下1階ロビー

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

監 修：穂葉昭江(穂葉アンティークジュエリー美術館館長)

特別協力：穂葉アンティークジュエリー美術館

企画協力：アートプランニングレイ

後 援：ブリティッシュ・カウンシル、日本ジュエリー協会、
日本ジュエリーデザイナー協会、日本紅茶協会

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」

図 録：本文271頁(21×15.1cm)

執筆：穂葉昭江、ダイアナ・スカリスブリック、
ハロルド・ブラウン、ダイアン・クライス

編集：「愛のヴィクトリアン・ジュエリー」展
カタログ制作室

発行所：株式会社平凡社

2010年2月25日 初版発行

2023年3月31日 初版第4刷発行

担 当：四宮美帆子(副主任学芸員)、高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

1837年、18歳の若き女性が大英帝国の王位を継承し、栄華を極めた時代の幕が上がりました。この繁栄期に64年間王位にあったのがヴィクトリア女王(在位：1837～1901年)その人です。植民地を世界各地に築き、圧倒的な工業力や軍事力によって「太陽の沈まない帝国」と呼ばれたこの時期のイギリスは、ヴィクトリア時代と呼ばれます。

本展では、大英帝国がもっとも繁栄したヴィクトリア女王の治世、英国王室にまつわる宝飾品をはじめ、当時台頭してきた資本家層など、多くの人々を魅了したヨーロッパのアンティークジュエリーを中心に、英国上流階級のライフスタイルを彩ったドレスやレース、銀食器など、華やかで優雅な世界をご紹介します。



チラシ



図録



展示風景

関連イベント

①内覧会

日 時：4/3(月)14時～17時
参加人数：87人

②講演会「アンティーク・ジュエリーの魅力」

日 時：4/22(土)13時～14時
講 師：穂葉昭江(穂葉アンティークジュエリー美術館館長)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：43人

③ハンドリングセミナー

日 時：4/22(土)14時30分～15時30分
講 師：穂葉昭江(穂葉アンティークジュエリー美術館館長)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：2,000円(要入館券)
参加人数：16人

④オークラ東京関連イベント

「ホテル ランチタイム・スペシャルトークイベント
～ロイヤルスタイル ヴィクトリア時代から現代まで～」
日 時：5/24(水)11時～13時
出 演 者：中野香織(服飾史家/作家)、
四宮美帆子(大倉集古館 副主任学芸員)
場 所：メイプル(オークラ プレステージタワー 7階)
料 金：18,000円(大倉集古館入館券・コースランチ付き、
消費税・サービス料込)
参加人数：55人

⑤オークラ東京関連イベント

「アフタヌーンティー特別講座 ～ロンドンと東京から見る、
奥深いアフタヌーンティーの世界～」
日 時：5/12(金)、6/13(火)各13時～15時
※講座の内容は同一
講 師：林原真澄(紅茶コンサルタント)
場 所：チェルシー(オークラ プレステージタワー 7階)
料 金：15,000円(大倉集古館入館券・
アフタヌーンティー付き、消費税・サービス料込)
参加人数：25人(5/12)、25人(6/13)

⑥オークラ東京関連イベント

「アフタヌーンティー特別講座
講座B～アンティークシルバーのテーブルセッティングと
紅茶の美学～」
日 時：6/7(水)、6/8(木)各13時～15時
※講座の内容は同一
講 師：多賀谷洋子(食空間デコレーター/
フランスチーズ鑑評騎士の会「シュヴァリエ」)
会 場：チェルシー(オークラ プレステージタワー 7階)
料 金：15,000円(大倉集古館入館券・
アフタヌーンティー付き、消費税・サービス料込)
参加人数：22人(6/7)、22人(6/8)



②講演会「アンティーク・ジュエリーの魅力」



③ハンドリングセミナー

作品リスト

No	作品名	素材	制作年	制作地/国
1階				
1	若き日のヴィクトリア女王	油彩、カンヴァス	1842年頃	イギリス
2	ティーセット(トレイ、ティーポット、コーヒーポット、 クリーマー、シュガー)	シルバー	1860-61年	ロンドン
3	ケトル	シルバー	1869年	バーミンガム
4	デザートセット(ナイフ、フォーク)	シルバー、マザーオブパール	1877年	バーミンガム
5	ティースプーン	シルバー	1880年	バーミンガム
6	ティーキャディー	シルバープレート	19世紀後期	イギリス
7	ケーキバスケット	シルバープレート	19世紀中期	イギリス
8	イバン(花器)	シルバープレート	19世紀後期	イギリス
9	脚付トレイ	シルバープレート	19世紀後期	イギリス
10	ポージーホルダー	ゴールドギルト	19世紀中期	イギリス
11	サーヴィングセット(カップ&ソーサー)	陶器	19世紀中期	イギリス
12	ティーナプキン	リネン	19世紀後期	イギリス
13	シトリン&カラーゴールドパリュール(ティアラ、 ブローチ、イヤリング、ペアブレスレット、ネックレス)	ゴールド、シトリン	1830年頃	イギリス
14	エメラルド&ダイヤモンドゴールドセット	ゴールド、エメラルド、ダイヤモンド	1830年頃	イギリス
15	ピンクパース&カラーゴールドスウィート	ゴールド、ピンクパース	1830年頃	イギリス
16	ゴールドネックレス&イヤリングセット	ゴールド	19世紀初期	フランス
17	リガードパドロックペンダント	ゴールド、ルビー、エメラルド、ガーネット、アメシスト、 ダイヤモンド、パール、ターコイズ	1820-30年頃	イギリス
18	ターコイズ&ゴールドブローチ	ゴールド、ターコイズ	1830年頃	イギリス
19	ゴールドスプレーブローチ	ゴールド、ルビー、エメラルド、ガーネット、ターコイズ	19世紀初期	イギリス
20	パール&ゴールドブレスレット	ゴールド、エメラルド、ダイヤモンド、パール	1850年頃	イギリス
21	ゴールドブローチ&バングルセット	ゴールド、パール、ラピスラズリ	19世紀中期	イギリス
22	ゴールドフィブラブローチ	ゴールド	1865年頃	イタリア
23	コーネリアンカメオ&ゴールドブレスレット	ゴールド、コーネリアンカメオ	1870年頃	イギリス
24	エナメル&ゴールドネックレス	ゴールド、ダイヤモンド、パール、エナメル	1870年頃	イギリス
25	バロックパールペンダント	ゴールド、エメラルド、ルビー、サファイア、バロックパール	19世紀初期	イギリス
26	シードパールミニアチュールブローチ	ゴールド、シードパール、ホワイト&ブルーエナメル	1800年頃	イギリスまたはフランス
27	シードパール&ゴールドブローチ	ゴールド、シードパール	1840～50年頃	イギリス
28	モスアゲートハーフパールブローチ	ゴールド、ハーフパール、モスアゲート	19世紀初期	イギリス
29	シードパールティアラ	ゴールド、シードパール、白蝶貝	19世紀初期	イギリス
30	シードパールティアラ	ゴールド、シードパール、白蝶貝	1862年	イギリス
31	シードパールネックレス&イヤリング	シードパール、白蝶貝	19世紀初期	イギリス
32	シトリン&ハーフパールブローチ	ゴールド、ハーフパール、エメラルド、シトリン	19世紀中期	イギリス
33	ハーフパール&ダイヤモンドネックレス	ゴールド、ダイヤモンド、ハーフパール	19世紀中期	イギリス
34	リング「ジャルティネット」	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド、ルビー、エメラルド	18世紀中期	イギリス
35	グリーンエナメル&ダイヤモンドリング	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド、グリーンエナメル	18世紀後期	フランス
36	ダイヤモンドコサージュオーナメント	シルバー、ダイヤモンド	1780年頃	イギリス
37	ブルーエナメル&ダイヤモンドリング	ダイヤモンド、ブルーエナメル	19世紀初期	イギリス
38	ダイヤモンドネックレス	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド	18世紀初期	コンチネンタル
39	ピンクパース&ダイヤモンドブローチ	シルバー、ダイヤモンド、ピンクパース	1850年頃	イギリス
40	ガーネット&ダイヤモンドペンダント	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド、パール、ガーネット	1860年頃	イギリス
41	ホルバインスクペンダント	ゴールド、ダイヤモンド、エナメル	1870年頃	イギリス
42	エナメル&ゴールドセット(ブローチ、イヤリング)	ゴールド、エナメル	1870年頃	フランス
43	スイスエナメルブローチ	ゴールド、エナメル	19世紀中期	スイス

作品リスト

No	作品名	素材	制作年	制作地/国
44	スイスエナメルブレスレット	ゴールド、エナメル	19世紀中期	スイス
45	リモージュエナメルブローチ	ゴールド、ダイヤモンド、パール、エナメル	1880-90年頃	フランス
46	エナメルミニアチュールペンダント	ゴールド、ダイヤモンド、パール、エナメル	1870年頃	フランス
47	リモージュエナメルブローチ	ゴールド、パール、エナメル	1870年頃	フランス
48	ローマンモザイク&ゴールドブレスレット(ペア)	ゴールド、ガラス	19世紀中期	イタリア
49	ローマンモザイク&ゴールドブローチ	ゴールド、ガラス	19世紀中期	イタリア
50	ローマンモザイク&ゴールドブローチ	ゴールド、ガラス	19世紀中期	イタリア
51	ローマンモザイク&ゴールドブローチ	ゴールド、ガラス	19世紀中期	イタリア
52	フローレンスモザイク&ゴールドセット (ペンダント、ブローチ、ブレスレット、イヤリング、スタッド)	ゴールド、マーブル、ハードストーン	1860年頃	イタリア
53	スコティッシュブローチ	ゴールド、アメシスト、シトリン	19世紀中期	イギリス
54	スコティッシュショールピンブローチ	シルバー、シルバーギルト、ガーネット	1849年12月17日	アイルランド
55	スコティッシュブローチ「ケルトスタイル」	ゴールド、アメシスト、シトリン、コーネリアン、モスアゲート、ブラッドストーン	1870年頃	イギリス
56	スコティッシュピンブローチ「ダーク」	シルバー、シトリン、コーネリアン、ブラッドストーン	19世紀中期	イギリス
57	スコティッシュブローチ「セントアンドリュースクロス」	ゴールド、コーネリアン、ブラッドストーン、モスアゲート、カルセドニー	1875年5月10日	スコットランド
58	スコティッシュブレスレット	ゴールド、コーネリアン、ブラッドストーン	19世紀中期	イギリス
59	スコティッシュブローチ「ガーターベルト」	シルバー、コーネリアン、ブラッドストーン、モスアゲート、カルセドニー	19世紀中期	イギリス
60	コーネリアン&ゴールドシール(シャトリン付き)	ゴールド、コーネリアン	1820年頃	イギリス
61	ホワイトカルセドニー&ゴールドシール	ゴールド、ホワイトカルセドニー	1790-1800年頃	イギリス
62	ハードストーンカメオ&ゴールドブローチ	ゴールド、ハードストーン	17世紀	イタリア
63	コーネリアンインタリオ&ゴールドペンダント	ゴールド、コーネリアン	1790-1800年頃	イギリス
64	インタリオ&ゴールドネックレス	ゴールド、コーネリアン、ガーネット、ジャスパー、オニキス、サードニクス	1870年頃	インタリオ：ローマ時代 金細工：北アフリカ
65	シェルカメオ&ゴールドセット(ブローチ、イヤリング、ネックレス)	ゴールド、シェル	19世紀初期	イギリス
66	ハードストーンカメオ&ハーフパールブローチ	ゴールド、ダイヤモンド、ハーフパール、ハードストーン	1860年頃	フランス
67	オニキスカメオ&ダイヤモンドブローチ	シルバー、ダイヤモンド、オニキス	19世紀中期	イギリス
68	ハードストーンカメオ&エナメルペンダント	ゴールド、ハードストーン、エナメル	カメオ：19世紀初期	カメオ：イタリア
69	アメシストカメオ&ハーフパールバングル	ゴールド、アメシスト、ハーフパール	19世紀中期	イギリス
70	ラブラドライトカメオペンダント	シルバー、ラブラドライト	19世紀中期	イタリア
71	シェルカメオセット	シェル	19世紀中期	イタリア
72	シェルカメオ	シェル	19世紀中期	イタリア
73	シェルカメオ	シェル	19世紀中期	イタリア
74	マラカイトカメオ&ゴールドネックレス	ゴールド、マラカイト	1830年頃	イギリス
75	コンクシェルカメオブローチ	ゴールド、コンクシェル	19世紀中期	イタリア
76	ラーヴァカメオブレスレット	ゴールド、ラーヴァ	1870年頃	イタリア
77	ピクウェボックス	シルバー、ベッコ甲	18世紀後期	イギリスまたはフランス
78	ピクウェブローチ	ゴールド、シルバー、ベッコ甲	19世紀中期	イギリスまたはフランス
79	ピクウェイヤリング	ゴールド、シルバー、ベッコ甲	19世紀中期	イギリスまたはフランス
80	ピクウェイバックル	ゴールド、シルバー、ベッコ甲	19世紀中期	イギリスまたはフランス
81	アイボリーミニアチュール&ゴールドスライド	ゴールド、アイボリー	18世紀後期	イギリス
82	アイボリーブローチ	アイボリー	19世紀中期	ドイツまたはスイス
83	アイボリーブローチ	アイボリー	19世紀中期	ドイツまたはスイス
84	アイボリーブレスレット	アイボリー	19世紀中期	ドイツまたはスイス
85	アイボリーバングル	アイボリー	19世紀中期	ドイツまたはスイス
86	カットスティール櫛	ベッコ甲、カットスティール	19世紀初期	イギリス
87	フレンチベーストブローチ	シルバー、ベースト	1830年頃	イギリス
88	マルカジットブローチ	シルバー、マルカジット	1776年	イギリス

No	作品名	素材	制作年	制作地/国
89	ベルリンアイアンワークペンダント	アイアン	19世紀初期	ドイツ
90	ベルリンアイアンワークブレスレット	アイアン	19世紀初期	ドイツ
91	ボヘミアンガーネットネックレス	ガーネット	1870年頃	チェコ
92	シルバーロケットチェーン	シルバー	1880年頃	イギリス
93	シルバー&ゴールドバングル	ゴールド、シルバー	1880年頃	イギリス
94	ホーン&ゴールドセット(ネックレス、イヤリング)	ゴールド、ホーン(雄牛の角)	19世紀中期	中国
95	タイガークロウ&ゴールドブローチ	ゴールド、珊瑚、エナメル	19世紀後期	イギリス
96	昆虫&ゴールドイヤリング	ゴールド、昆虫	19世紀後期	イギリス
97	ブルーバタフライブローチ「トンボ」	シルバー、モルフオ蝶	20世紀初期	イギリス
2階				
99	ガーネット&ダイヤモンドゴールドセット	ゴールド、ガーネット、ダイヤモンド	1840年頃	フランス
100	ブルーエナメル&ゴールドネックレス	ゴールド、ダイヤモンド、パール、ブルーエナメル	1865-70年頃	イギリス
101	天空を横切る勝利の女神	ゴールド、積層アゲート	カメオ：1600頃 フレーム：17世紀	イタリア
102	コーネリアンインタリオセット	ゴールド、コーネリアン	19世紀初期	イタリア
103	インタリオ&ゴールドペンダント	ゴールド、積層アゲート	19世紀初期	イタリア
104	ラーヴァカメオ「メドゥーサ」	ラーヴァ	19世紀中期	イタリア
105	エナメル&サファイア、ダイヤモンドネックレス	ゴールド、ダイヤモンド、パール、サファイア、エナメル	1880年頃	イギリス
106	ハードストーンカメオセット	ハードストーン	17世紀後期 ~19世紀後期	イギリス、イタリア、 フランス
107	チャールズ1世のモーニングスライド(エナメル肖像画付)	ゴールド、エナメル、クリスタル、遺髪	1650年頃	イギリス
108	チャールズ2世のモーニングスライド	ゴールド、パール、エナメル、クリスタル、遺髪	1685年頃	イギリス
109	アン女王のプレゼンテーションリング	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド	1702年	イギリス
110	ヴィクトリア女王のミニアチュールペンダント	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド、エナメル	1838年	イギリス
111	アルバート公のカメオペンダント	ゴールド、シェル、ブルーエナメル	19世紀中期	イギリス
112	ヴィクトリア女王のカメオペンダント	ゴールド、シェル	19世紀中期	イタリア
113	ジョージ4世のデスクシール	ゴールド、シトリン	1820年頃	イギリス
114	シャーロット妃「アイ」ブレスレット	ゴールド、アイボリー	1817年頃	イギリス
115	エナメルミニアチュールブローチ	ゴールド、エナメル	1850年	イギリス
116	ロイヤルポートレートミニアチュール (ヴィクトリア女王の子供たちの肖像画)	ゴールド、アイボリー、グアッシュ	1855年頃	イギリス
117	ヘレナ妃のプレゼンテーションペンダント	ゴールド、ターコイズ	1864年1月21日	イギリス
118	ヴィクトリア女王のプレゼンテーションブローチ	ゴールド、御影石	1871年1月2日	イギリス
119	ヴィクトリア女王のプレゼンテーションブローチ	シルバー、シトリン	19世紀後期	イギリス
120	ヴィクトリア女王のプレゼンテーションブローチ	ゴールド	1885年	イギリス
121	ヴィクトリア女王のミニアチュールペンダント	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド、エナメル	1858年6月14日	イギリス
122	ケント公爵のシール	ゴールド、コーネリアン	1800年頃	イギリス
123	ネイサン・ロスチャイルドのシール(シャトリン付き)	ゴールド、コーネリアン	1825年頃	イギリス
124	スペンサー伯爵のシール	ゴールド、プラチナ、ホワイトアゲート	18世紀後期	イギリス
125	ヴィクトリア女王のプレゼンテーションペンダント	ゴールド、シルバー、ダイヤモンド、ルビー、エメラルド、ブルーエナメル	1875年	イギリス
126	ヴィクトリア女王のプレゼンテーションペンダントに付された手紙		1875年	イギリス
127	ヴィクトリア女王のシール	ゴールド、アゲート、コーネリアン	19世紀後期	イギリス
128	ヴィクトリア女王の家系図	エッチング紙	1887年	イギリス
129	ヴィクトリア女王から贈られたクリスマスセット	シルバーギルト	1870年	イギリス
130	ヴィクトリア女王&アルバート公 ダブルポートレート・ブロンズメダル	ブロンズ	1851年	イギリス
131	ブローチ クリスタルパレス	シルバー、ポーセレン	1851年	イギリス
132	大英帝国地図	エッチング、アクアチント(?)、手彩色、紙	1851年	イギリスイギリス

作品リスト

No	作品名	素材	制作年	制作地/国
133	ヴィクトリア女王のブロンズメダル	ブロンズ	1897年	イギリス
134	ヴィクトリア女王のエナメルブローチ	シルバーギルト、エナメル	1887年	イギリス
135	エドワード7世のプレゼンテーションバングル	ゴールド、ダイヤモンド、エナメル	1903年	イギリス
136	リバーズインタリオペンダント	ゴールド、クリスタル、エナメル	1887年	イギリス
137	ヴィクトリアン・アルバム(オルゴール付)	皮革、金具、紙、写真	1901年	イギリス
138	ダイアナ元妃のダイヤモンドリング	ゴールド、ダイヤモンド	1985年	フランス
139	皇太子チャールズとダイアナ・スペンサーの結婚記念のシルバーボックス	シルバー	1981年7月29日	イギリス
140	オレンジブラッサム・ヘアーオーナメント	ロウワックス	19世紀後期	イギリス
141	オレンジブラッサム・ヘアーオーナメント	ロウワックス	19世紀後期	イギリス
142	オレンジブラッサム・ヘアーオーナメント	ロウワックス	19世紀後期	イギリス
143	ウェディングベール(ロング)	レース	19世紀後期	イギリス
144	ウェディングドレス	シルクサテン、ホニトンレース(襟&袖口飾り)	1840年頃	イギリス
145	ウェディングショール	レース	19世紀後期	イギリス
146	ポージーリング	ゴールド	17世紀後期	イギリス
147	リング「忠実」	ゴールド	18世紀後期	イギリス
148	リング「蛇」	ゴールド	19世紀初期	イギリス
149	リング「忘れな草」	ゴールド	19世紀後期	イギリス
150	リング「蛇」	ゴールド、ダイヤモンド	19世紀後期	イギリス
151	シュガーケーキデザイン画(ウェディング)	リトグラフ、紙	19世紀後期	イギリス
152	シュガーケーキデザイン画(銀婚式)	リトグラフ、紙	19世紀後期	イギリス
153	シュガーケーキデザイン画(金婚式)	リトグラフ、紙	19世紀後期	イギリス
154	ブリュッセルデュシェスレースの扇	マザーオブパール、手彩色	1880-90年頃	フランスまたはベルギー
155	ボワン・ド・ガーズレースの扇	マザーオブパール、手彩色	1880-90年頃	フランスまたはベルギー
156	モーニングドレス	シルクサテン	1870年頃	イギリス
157	モーニングケープ	ピロード、レース、ビーズ刺繍	1870年頃	イギリス
158	シャンティリレース扇	マザーオブパール、ゴールド	1880-90年頃	フランスまたはベルギー
159	「アイ」ミニアチュールブローチ	ゴールド、ダイヤモンド、エナメル、アイボリー	1780年頃	イギリス
160	ヘアーミニアチュールリング	ゴールド、アイボリー、ブラックエナメル、遺髪	1773年	イギリス
161	ハーフパール&ゴールドリング	ゴールド、ハーフパール、クリスタル、ブラックエナメル、遺髪	1829年	イギリス
162	オニキス&ゴールドリング	ゴールド、オニキス、遺髪	1830年頃	イギリス
163	ヘアー&ゴールドブローチ	ゴールド、遺髪	19世紀中期	イギリス
164	ヘアー&ゴールドブローチ	ゴールド、パール、遺髪	1858年	イギリス
165	ヘアー&ゴールドブローチ	ゴールド、ルビー、パール、遺髪	19世紀中期	イギリス
166	日傘	アイボリー	1880-90年頃	イギリス
167	ジェット記念石	ジェット	19世紀	イギリス
168	ジェットブローチ「ゼウス」	ジェット	1870年頃	イギリス
169	ジェットネックレス	ジェット	1870年頃	イギリス
170	ジェットブローチ「ペトラドンナ」	ジェット	19世紀中期	イギリス
171	ジェットネックレス「スズラン」	ジェット	19世紀中期	イギリス
172	ジェットプレスレット「蛇」	ジェット	19世紀中期	イギリス
173	シェルカメオ&ジェットブローチ「シェイクスピア」	ジェット、シェル	19世紀中期	イギリス
174	ジェットリング「鳩」	ジェット	19世紀中期	イギリス
175	ジェットティアラ	ジェット	19世紀中期	イギリス
176	ボグオークブローチ「キルケニー城」	ジェット	1860年頃	アイルランド
177	グラスカメオ&フレンチジェットブローチ	ジェット、グラス	1880年頃	イギリスまたはフランス

No	作品名	素材	制作年	制作地/国
地下1階				
179	フランドルとミラノのボビンレース			
180	初期のボビンレース&ニードルワーク			
181	フランスのニードルポイントレース			
182	ヴァレンシエンヌボビンレース			
183	ブリュッセルニードルポイントレース			
184	シャンティリとプロンドのボビンレース			
185	バッキンガムシャーポイントボビンレース			
186	ブリュッセルのボビンとニードルポイントの混成レース			
187	18世紀のブリュッセルとデヴォンシャーのボビンレース			

出品数：187 件

令和5 (2023) 年度 (2)

特別展 畠中光享コレクション 恋し、こがれたインドの染織 —世界にはばたいた布たち—

会 期：令和5 (2023) 年 8 月 8 日 (火)～ 10 月 22 日 (日)

※前期：8/8 (火)～ 9/10 (日)

※後期：9/12 (火)～ 10/22 (日)

※8/7 (月) は内覧会 (報道・一般)

開館時間：10 時～ 17 時

開催日数：68 日間※内覧会 1 日含む

入場者数：12,997 人 (1 日平均約 191.1 人)

観 覧 料：一般 1,300 円、大学・高校生 1,000 円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1 階展示室、2 階展示室、地下 1 階ロビー

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館、
日本経済新聞社

監 修：畠中光享 (日本画家、インド美術研究者)

応 援：インド大使館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

広 報 物：ポスター (B2)、チラシ (A4)

配付資料：「作品リスト」

図 録：本文 147 頁 (21.0×14.7cm)

編集：四宮美帆子 (副主任学芸員)

デザイン：石島章輝 (イシジマデザイン制作室)

印刷：株式会社アイワード

担 当：四宮美帆子 (副主任学芸員)、高野明子 (学芸補助)、
平塚泰三 (学芸部長)

展示趣旨：

インドは古くから綿の国でした。植物繊維である木綿に美しい色を染めることは難しく、17 世紀以前に赤や黄色を鮮やかに発色させ、しかも洗っても色落ちしない布を作る技法をもつ国はインドにおいて他にはありませんでした。本展覧会では、交易により世界に輸出され、変化を遂げていったインド布の伝播に着目し、ヨーロッパをはじめ、インドネシア、タイ、ベルシヤ、日本などへもたらされ、それぞれの地で変化を遂げた布たちをご紹介いたしました。展示では「更紗」の名で知られる捺染布をはじめ、ヨーロッパに渡った豊かな色彩のエキゾチックな柄のバランポールと呼ばれる捺染布、1 枚作るのに最低 3 年はかかるといわれる緻密な組織のカシミアールシヨールなどを展覧しました。そして、何よりインド国内の宮廷や寺院で使われた金銀糸織や、今では技法さえわからないほどの複雑な絞り染めのターバンや上質の木綿モスリンなど、インド染織の幅広さや奥深さをお楽しみいただきました。

展示構成：

第一章：ヨーロッパに渡ったインド布とその展開

第二章：東南アジア、ベルシヤ、日本へ渡ったインド布とその展開

第三章：インド国内で使用された布



チラシ



図録



展示風景



関連イベント

①内覧会(報道・一般)

日 時：8/7(月)13時～14時(報道)
14時～17時30分(一般)
参加人数：17人(報道)、124人(一般)、(合計141人)

②講演会1「インドの伝統染織から考えること」

日 時：8/26(土)
①11時～12時15分 ②14時～15時15分
③15時30分～16時45分
※各回の内容は同一、後半はギャラリートークを行う
講 師：畠中光享(日本画家、インド美術研究者)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール、展示室
料 金：無料(要入館券)
参加人数：①39人、②51人、③39人

③講演会2「インド染織の美技」

日 時：9/23(土)
①14時～15時 ②15時30分～16時30分
※各回の内容は同一
講 師：沼沢ゆかり(東京国立博物館 研究員)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：①44人、②39人

④ギャラリートーク

日 時：9/23(土)11時～12時
担 当：四宮美帆子(副主任学芸員)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：無料(要入館券)
参加人数：40人

⑤オークラ東京関連イベント

「ホテル ランチタイム・スペシャルトークイベント
～インドの染織ときもの～」
日 時：10/3(火)11時～13時
(大倉集古館ギャラリートーク13時～17時)
ト ー ク：畠中光享(日本画家、インド美術研究者)
「インド古代染織の魅力」
糸川千尋(貴久樹/常務取締役)「着る更紗」
会 場：オーチャード(オークラ プレステージタワー 2階)
料 金：18,000円(大倉集古館入館券・ランチコース・
お飲み物付き、消費税・サービス料込)
参加人数：112人
ギャラリートーク参加人数：①約50人、②約50人、③約30人
※一般入場者を含む。

⑥オークラ東京関連イベント 「アフタヌーンティー特別講座」

日 時：9/5(火)、9/8(金)各13時～15時
※講座の内容は同一
講 師：林原真澄(紅茶コンサルタント)
会 場：チェルシー(オークラ プレステージタワー 7階)
料 金：15,000円(大倉集古館入館券・
アフタヌーンティー付き、消費税・サービス料込)
参加人数：21人(9/5)、20人(9/8)

⑦ARK Hills Music Week 2023「オークラウロ・コンサート」

日 時：10/8(日)18時30分開演
出 演：小湊昭尚(オークラウロ)、愛川聡(ギター)
担 当：田中知佐子(学芸員)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：3,500円
参加人数：38人

作品リスト

展示No	図録No	前期	後期	作品名	制作地/国	技法	制作時期
1	4	○	○	掛布	コロマンデル・コースト(インド)	手描染、媒染、防染/木綿	18世紀後期
2	2	○		竹花樹鳥獣文ベッドカバー	コロマンデル・コースト(インド)	手描染、媒染、防染/木綿	18世紀後期-19世紀初期
3	1		○	ベッドカバー	コロマンデル・コースト(インド)	手描染、媒染、防染/木綿	18世紀中期
4	7	○	○	覆い布	アンドラ・プラデッシュ州、マサラパタム?(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀初期
5	3	○	○	断片	インド	木版捺染、媒染、防染/木綿	18世紀中期
6	12	○	○	ショール	カシミール(インド)	綾地綴織/羊毛	19世紀中期
7	11	○	○	ショール	カシミール(インド)	綾地綴織/羊毛	1850-70年代
8	10	○	○	ショール	カシミール(インド)	綾地綴織/羊毛	19世紀後期
9	15	○	○	ショール	カシミール(インド)	綾地綴織/羊毛	19世紀中期
10	9	図録のみ		掛布	カシミール(インド)	綾地綴織/羊毛	19世紀前期
11	17		○	ショール	カシミール(インド)	綾地綴織/羊毛	19世紀前期
12	13	図録のみ		ショール	カシミール(インド)	綾地綴織/羊毛	19世紀中期
13	29	○		倣カシミールショール	イギリス	銅版プリント/絹	19世紀中期
14	27	○		倣カシミールショール	フランス	銅版プリント/羊毛	19世紀中期
15	26		○	倣カシミールショール	イギリス	銅版プリント/木綿(経)、羊毛(緯)	19世紀中期
16	25		○	倣カシミールショール	イギリス	銅版プリント/羊毛	19世紀中期
17	36	○	○	覆い布断片	ヨーロッパ	銅版捺染/木綿	19世紀後期
18	35	○		布地	ヨーロッパ	銅版捺染/木綿	19世紀後期
19	34		○	布地	ヨーロッパ	銅版捺染/木綿	19世紀
20	37	○	○	覆い布	ヨーロッパ	銅版捺染/木綿	19世紀
21	38	○	○	掛布	ヨーロッパ	銅版捺染/木綿	19世紀
22	33	図録のみ		寺院用掛布	イギリス	銅版捺染/木綿	19世紀後期
23	31	○	○	断片	イギリス	木版捺染、媒染/木綿	18世紀後期
24	39	○		布地	ウッタル・プラデッシュ州、ラクノウ(インド)	チカン刺繍/木綿モスリン、木綿糸	19世紀後期
25	40		○	布地	ウッタル・プラデッシュ州、ラクノウ(インド)	チカン刺繍/木綿モスリン、木綿糸	19世紀後期
26	122	○	○	布地	ウッタル・プラデッシュ州、ラクノウ(インド)	チカン刺繍/木綿モスリン、木綿糸	19世紀後期
27	30	○	○	女性用キルトアンサンブル ボディース ケープ スカート	フランス、ジュイエ房製	木版捺染、媒染、防染、 キルティング/木綿	18世紀後期
28	5	○	○	掛布断片	コロマンデル・コースト(インド)	手描染、媒染、防染/木綿	18世紀中期
29	6	○	○	ベッドカバー断片	コロマンデル・コースト(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	18世紀中期
30	32	○	○	掛布	ヨーロッパ	凸版ローラーによる加彩/木綿	19世紀初期
31	22	○		倣カシミールショール	イギリス	ジャカード織/羊毛	19世紀後期
32	23	○	○	倣カシミールショール	フランス	ジャカード織/羊毛	19世紀中期
33	18	○		倣カシミールショール	フランス	ジャカード織/羊毛	19世紀中期
34	21		○	倣カシミールショール	イギリス	ジャカード織/羊毛	19世紀中期
35	20	○	○	倣カシミールショール	フランス	ジャカード織/羊毛	19世紀前期
36	19		○	倣カシミールショール	イギリス	ジャカード織/羊毛	19世紀中期
37	特別出品	○	○	ワンピース	インド(イギリスからの発注品)	刺繍/木綿モスリン	19世紀後期-20世紀初期
38	24	○		倣カシミールショール	イギリス	銅版プリント/羊毛	19世紀中期
39	28		○	倣カシミールショール	イギリス	木版プリント/羊毛	19世紀中期
40	41	○	○	ワンピース	インド(イギリスからの発注品)	刺繍/木綿モスリン	19世紀初期
41	14	○	○	ショール	カシミール(インド)	綾地綴織/バシュミナ	18世紀後期
42	8	○	○	布地	アンドラ・プラデッシュ州、マサラパタム(インド)	木版捺染、媒染/木綿	18世紀後期-19世紀初期



①報道内覧会



②講演会



③講演会

作品リスト

展示No	図録No	前期	後期	作品名	制作地/国	技法	制作時期
2階 第2章 東南アジア、ベルシヤ、日本へ渡ったインド布とその展開							
43	49	○	○	儀礼用布	グジャラート州(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染、印金/木綿	19世紀後期
44	48	○	○	儀礼用布	グジャラート州(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
45	46	○		儀礼用布	グジャラート州(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	18世紀後期
46	42	○		儀礼用布	グジャラート州(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	18世紀後期
47	45		○	儀礼用布	グジャラート州(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	18世紀後期 - 19世紀初期
48	47		○	儀礼用布	グジャラート州(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
49	44	○	○	儀礼用布	グジャラート州(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	18世紀後期
50	50	○	○	掛布	スリランカ	手描染、媒染/木綿	19世紀中期
51	51	○	○	掛布	スリランカ	手描染、木版捺染、媒染/木綿	19世紀中期 - 後期
52	69	○	○	儀礼用被布/パトラ(緋織)模様	グジャラート州(インド)	木版捺染、媒染/木綿	19世紀中期
53	70	○		儀礼用被布/パトラ(緋織)模様	グジャラート州(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀中期
54	68		○	儀礼用サリー	グジャラート州(インド)	経緯緋、ノトラ織/絹	20世紀前期
55	67	○	○	儀礼用被布	グジャラート州(インド)	経緯緋、ノトラ織/絹	19世紀後期
56	66	図録のみ		儀礼用被布	グジャラート州(インド)	経緯緋、ノトラ織/絹	19世紀後期
57	85	○		ドア・カーテン	アンドラ・プラデッシュ州、マスリパタム(インド)	手描染、木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
58	87	○	○	覆い布	アンドラ・プラデッシュ州、マスリパタム(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
59	81	○	○	覆い布	アンドラ・プラデッシュ州、マスリパタム(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀中期
60	84		○	覆い布	アンドラ・プラデッシュ州、マスリパタム(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀末
61	86		○	ドア・カーテン	アンドラ・プラデッシュ州、マスリパタム(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
62	82	○	○	礼拝用敷布	アンドラ・プラデッシュ州、マスリパタム(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀末
63	83		○	礼拝用敷布	アンドラ・プラデッシュ州、マスリパタム(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀末
64	60	○	○	儀礼用布	インドネシア	緋織/絹	20世紀前期
65	64	○	○	儀礼用布	インドネシア	緋織/絹	20世紀前期
66	59	○		儀礼用布	インドネシア	浮織/絹	19世紀末
67	61		○	儀礼用布	インドネシア	格子縞織/木綿	19世紀末 - 20世紀初期
68	65	図録のみ		儀礼用布	ラオス	緋織/木綿	20世紀前期
69	62		○	布地	インドネシア	経織織/木綿	19世紀末 - 20世紀初期
70	63		○	布地	インドネシア	格子縞織/木綿	19世紀末 - 20世紀初期
71	43	○	○	儀式用掛布(ラーマヤナの一場面)	おそらくスリランカ	手描染(カラムカリ)、媒染、防染/木綿	16-17世紀
72	79	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
73	72	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
74	75	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
75	71	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
76	74	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
77	73	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
78	76	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
79	78	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
80	77	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
81	80	○	○	腰布	インドシナ半島	緋織/絹	19世紀末 - 20世紀初期
82	90	○	○	布地	日本	顔料型染/木綿	19世紀中期
83	89	○	○	布地	日本	顔料型染/木綿	19世紀後期
84	91	○	○	布地	日本	顔料型染/木綿	19世紀後期
85	92	○	○	布地	日本	顔料型染/木綿	19世紀後期
86	88	○	○	男性用着物	生地 インド 仕立て 日本	木版捺染、墨の渦巻紋は全て手描き/木綿	生地 17-18世紀
87	57	○		布地	インドネシア	蠟防染/木綿	20世紀前期
88	52	○		儀礼用布	インドネシア	蠟防染/木綿	20世紀初期

展示No	図録No	前期	後期	作品名	制作地/国	技法	制作時期
89	55	○		儀礼用布	インドネシア	蠟防染/木綿	20世紀前期
90	56		○	儀礼用布	インドネシア	蠟防染/木綿	20世紀前期
91	54		○	儀礼用布	インドネシア	蠟防染/木綿	19世紀末
92	53		○	儀礼用布	インドネシア	蠟防染/木綿	20世紀初期
93	58	図録のみ		儀礼用布	インドネシア	蠟防染/木綿	20世紀初期
1階 第3章 インド国内で使用された布							
94	98	○		布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
95	97	○	○	布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
96	104	○	○	布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期
97	99	○		布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染/木綿	19世紀後期-20世紀初期
98	100	○	○	覆い布断片	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	20世紀初期
99	103		○	布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀後期-20世紀初期
100	96		○	布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染/木綿	19世紀後期-20世紀初期
地下1階							
101	117	○	○	サリー	ベンガル地方(インド)	経浮織、ジャムダニ織/木綿	19世紀後期
102	118	○	○	サリー	ベンガル地方(インド)	経浮織、ジャムダニ織/木綿	19世紀後期
103	120	○	○	被布	マティア・プラデッシュ州、チャンテリ(インド)	縫取織、罫織/木綿モスリン、金糸、銀糸	18世紀後期
104	105	○	○	儀礼用被布	ラジャスタン州、ナタドワラ(インド)	金箔押/木綿モスリン	19世紀中期
105	106	○	○	儀礼用被布	ラジャスタン州、ナタドワラ(インド)	金箔押/木綿モスリン	19世紀
106	101	○	○	天蓋布	ラジャスタン州、バグル(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀前期
107	115	○		掛布	ウッタール・プラデッシュ州、ヴァラナシ(インド)	縫取織/絹、金糸、銀糸	19世紀中期
108	119		○	サリー	ウッタール・プラデッシュ州、ヴァラナシ(インド)	金銀糸織、ジャムダニ織/絹	20世紀初期
109	114	○	○	牛用掛布	グジャラート州(インド)	縫取織/絹、金糸、銀糸	19世紀前期
110	95	○	○	断片	ラジャスタン州(インド)	木版捺染、媒染/木綿	19世紀初期
111	94	○	○	断片	ラジャスタン州(インド)	木版捺染、媒染/木綿	19世紀初期
112	93	○	○	布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染、防染/木綿	19世紀前期
113	102	○	○	布地	ラジャスタン州、サンガネール(インド)	木版捺染、媒染/木綿	19世紀後期
114	116	○	○	布地	グジャラート州、カッチ地方(インド)	経浮織、キンカブ織/絹(経)、木綿(緯)、金糸	19世紀前期
115	121	○	○	断片	グジャラート州(インド) ?	縞織子織、ミシュル織/絹(経)、木綿(緯)	19世紀前期
116	16	○	○	ショール断片	カシミール(インド)	綾地綴織/パシュミナ	19世紀初期
117	123	○	○	断片	ウッタール・プラデッシュ州、ラクノウ(インド)	チカン刺繍/木綿モスリン、木綿糸	19世紀
118	なし	○	○	断片	ウッタール・プラデッシュ州、ラクノウ(インド)	チカン刺繍/木綿モスリン、木綿糸、絹糸(黄色い部分)	19世紀
地下1階							
	107					ひと目絞り染、巻き上げ絞り染、	
119		○	○	ターバン	ラジャスタン州(インド)	縫締め絞り染、霜降染、	18-20世紀初頭
	113					金(または銀)箔押、雲母押、	
						これらの技法の複合/木綿モスリン	

出品数：119件

令和5 (2023) 年度 (3)

アートウィーク東京 特別展覧会 ART FOCUS

会 期：令和5(2023)年11月2日(木)～11月5日(日)

※10/30(月)報道内覧会

※10/31(火)～11/1(水)VIP内覧会

開館時間：10時～18時

開催日数：7日間 ※報道内覧会等3日含む

入場者数：4,410人(1日平均630.0人)

入 場 料：一般：11/2 (木) 10時～17時30分入場、

11/3 (金)～5 (日) 10時～11時

入場：2,000円

11/3 (金)～5 (日) 11時～17時30分

入場：2,200円

学生・子供：無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室、地下1階ロビー

主 催：一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム

アーティストディレクター：保坂健二郎

(滋賀県立美術館ディレクター)

特別協力：公益財団法人大倉文化財団・大倉集古館

広 報 物：チラシ(A3)二つ折り

担 当：若林文彦(庶務課長)、福田秀明(事務局長)、

平塚泰三(学芸部長)

展示趣旨：

「アートウィーク東京(AWT)」は、日本のコンテンポラリーアートの創造性と多様性、そしてそのコミュニティを、国内外で紹介するアニュアルイベント。AWT 公式プログラムとして大倉集古館で開催された本展は、日本の戦後の抽象表現の展開を、絵画や立体はもとより、版画、写真、工芸、書、デザインなど多様なジャンルによって迎えるユニークな場となりました。しかも、展覧会を構成する作品はすべて「available(購入可能)」だという、新しい形式の展覧会でした。

アーティストディレクターに保坂健二郎を迎え、大倉集古館にて、アートウィーク東京が展覧会を開催。美術史的観点から選定した64名のアーティストによる100点を越える作品を通じて、日本近現代美術のキーワードを再考しました。すべての出展作品が参加ギャラリーを介して「買える」展覧会でした。会期中、子どもからコレクターまで対象別の鑑賞ツアーを実施。さらに館内に託児所を開設し、子育て世代のアート鑑賞をサポートしました。

*鑑賞ツアー、託児所は事前申込制



チラシ



展示風景

令和5 (2023) 年度 (4)

企画展 大倉組商会150周年 偉人たちの邂逅 —近現代の書と言葉—

会 期：令和5(2023)年11月15日(水)～

令和6(2024)年1月14日(日)

※11/14(火)は内覧会(報道・一般)

※12/29～12/31は閉館、年始は1/1から開館

開館時間：10時～17時

開催日数：52日間※内覧会1日含む

入場者数：4,408人(1日平均約84.8人)

入 場 料：一般1,000円、大学・高校生800円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」

図 録：本文126頁(21.0×14.7cm)

編著：四宮美帆子(副主任学芸員)

表紙デザイン：山根佐保(Ream)

本文デザイン・制作：伊東優花(株式会社アイワード)

印刷：株式会社アイワード

担 当：四宮美帆子(副主任学芸員)、高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

今から150年前の明治6年(1873)10月、大倉喜八郎によって大倉組商会が設立されました。大倉組商会は後に10財閥の一つに数えられる大企業に成長します。本展では大倉組商会設立から150年を数えた本年、創設者・大倉喜八郎と、嗣子・喜七郎による書の作品とともに、事業や文雅の場で交流した日中の偉人たちによる作品を展示し、詩作や書の贈答によって結ばれた交流の様子を展覧いたしました。

喜八郎と喜七郎は、大倉集古館の設立とその維持にかかわったパトロンとして知られた人物ですが、公私の繋がりを大切に、詩の贈答を行い、文雅の会を開いて自らも作品を作り上げました。当時の財界のみならず、文雅の世界をもリードした大倉親子の姿を、作品を通してご観いただきました。

展示構成：

第1章：大陸とのつながり

第2章：大倉喜八郎の光悦流、そして狂歌の流れ

第3章：近代日本をつくった偉人の書

第4章：大倉喜七郎と松本芳翠、そして漢詩の友



チラシ



図録



展示風景



関連イベント

①内覧会(報道・一般)

日 時：11/14(火)13時30～15時(報道)、
15時～17時(一般)
参加人数：4人(報道)、79人(一般)

②講演会1

「大倉喜八郎の経済活動とその後－財閥の形成、戦後の変遷－」
日 時：11/25(土)14時～15時
講 師：村上勝彦(当財団理事長・東京経済大学名誉教授)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：30人

③対談

「大倉喜七郎と松本芳翠－大正・昭和の実業家と書道界－」
日 時：12/2(土)14時～15時
講 師：谷村雋堂(書家・松本芳翠令孫)、
高橋利郎(大東文化大学 教授)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：45人



②講演会



③講演会



⑤ギャラリートーク



⑥生け花展示

④講演会2

「最後の文人サロン－日中交流の懸け橋－」
日 時：12/9(土)14時～15時
出 演 者：富田淳(九州国立博物館 館長)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：30人

⑤担当学芸員によるギャラリートーク

日 時：11/23(祝・木)、12/19(火)、
2024/1/10(水)各14時～15時
担 当：四宮美帆子(副主任学芸員)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：無料(要入館券)
参加人数：20人(11/23)、18人(12/19)、20人(2024/1/10)

⑥蔵重伸(池坊)生け花展示

日 時：令和6年1/1(月・祝)～1/8(月・祝)
場 所：大倉集古館 入口・1階展示室
協 力：華道家元 池坊

③対談



作品リスト

展示No	図録No	名称	作者・寄贈者等	制作地	時代・年代	所蔵・備考・展示替
1階						
1	図録のみ	大倉鶴彦翁夫妻像	高村光雲(1852～1934)・ 高村光太郎(1883～1956)合作	日本	昭和2年(1927)	
2	9	寿聯(楷書七言聯)	愛新覺羅溥儀(1906～67)筆	中華民国	民国13年(1924)	
図録のみ	1	行書七言対句軸	愛新覺羅溥儀(1906～67)筆	中華民国	民国14年(1925)頃カ	
4	2	行書涪翁語軸	陳宝琛(1848～1935)筆	中華民国	民国14年(1925)	
5	3	使日雑詩	鄭孝胥(1860～1938)筆	中華民国または日本	1934年	
6	4	行書五言絶句軸	肅親王(愛新覺羅善書)(1866～1922)筆	中華民国	民国5年(1916)頃カ	
7	6	寿詩(楷行書七言律詩軸)	喀喇沁王(眞桑諾爾布)(1872～1931)筆	モンゴルまたは中華民国	1924年	
8	5	蒙古文の書	奈曼王(蘇珠克圖巴圖爾)(1889～1926)筆	モンゴルまたは中華民国	1924年1月9日カ	
9	23	扇面「鵬程万里」・蓮池美人図	王揖唐(1877～1948)書 陳少梅(1909～54)画	中華民国	(画)民国26年(1937)5月	1/1～片面のみ
10	24	汪啓淑の所用印		中国	清時代・18世紀	1/1～展示位置変更
特別出品	図録のみ	能面 翁		日本	江戸時代・18～19世紀	1/1～
特別出品	図録のみ	「大神楽図」(『雑画帖』のうち)	英一蝶(1652～1724)筆	日本	江戸時代・17世紀	1/1～
特別出品	図録のみ	「獅子舞図」(『雑画帖』のうち)	英一蝶(1652～1724)筆	日本	江戸時代・17世紀	1/1～
11	図録のみ	行書千字文巻	徐世昌(1855～1939)筆	日本	大正11年(1922)	
12	22	書額「博愛」	孫文(1866～1925)筆	中華民国または日本	1913～16年カ	
13	7	『鶴壽南山録』	秋元雄治(生没年不詳)編 大倉組発行	日本	大正14年(1925)4月25日刊	
14	16	福祿寿立像(寿星・禄星)		中華民国	民国13年(1924)	
15	8	寿序(箱)	徐樹錚(1880～1925)寄贈	中華民国	民国13年(1924)	
16	15	古書(隸書四言聯)	伝金農(1687～1763)筆	中国	清時代・乾隆9年(1744)カ	
17	11	寿詩(行書七言絶句軸)	朱慶瀾(1874～1941)筆	中華民国	民国13年(1924)	
18	10	寿詩(行書七言律詩軸)	張書(1853～1926)筆	中華民国	民国13年(1924)	
19	13	寿詩(篆書七言絶句軸)	程克(1878～1936)筆	中華民国	民国13年(1924)	
20	12	寿牡丹寿聯	曹銳(1868～1924)寄贈	中華民国	民国13年(1924)	
21	14	寿聯(篆書八言聯)	呉湖帆(1894～1968)筆	中華民国	民国13年(1924)	
図録のみ	17	弔旗「中外同悲」	徐世昌(1855～1939)寄贈	中華民国	民国17年(1928)	
図録のみ	18	弔旗「哲人其萎」	段祺瑞(1865～1936)寄贈	中華民国	民国17年(1928)	
22	19	弔旗「霽馭興悲」	張作霖(1875～1928)寄贈	中華民国	民国17年(1928)	
23	20	弔旗「普天同吊」	蒋介石(1887～1975)寄贈	中華民国	民国17年(1928)	
24	21	挽聯(篆書長聯)	張学良(1901～2001)筆	中華民国	民国18年(1929)	
25	25	館名扁額「大倉集古館」	徐世昌(1855～1939)筆	中華民国及び日本	1917年カ	入口上部
図録のみ	26	館名額「大倉集古館」	徐世昌(1855～1939)筆	中華民国及び日本	1917年カ	
2階						
26	29	詩書巻	本阿弥光悦(1558～1637)筆	日本	江戸時代・17世紀	
27	27	楽天切貼恵比寿に鶴彦翁狂歌	大倉喜八郎(1837～1928)書 北沢楽天(1876～1955)画	日本	大正15年(1926)	
28	30	新発田大倉製糸工場のために	大倉喜八郎(1837～1928)筆	日本	大正12年(1923)	
29	28	蓮下絵百人一首和歌巻(複製)	本阿弥光悦(1558～1637)筆 依屋宗達(生没年不詳)下絵	日本	大正7年(1918)カ (原本:江戸時代・17世紀)	
図録のみ	32	感涙会歌舞出演目録及歌一首	大倉喜八郎(1837～1928)筆	日本	大正11年(1922)4月8日	
30	33	感涙会の歌	大倉喜八郎(1837～1928)筆	日本	大正11年(1922)	
31	31	『鶴彦翁翰墨遺蹟集』	大倉喜八郎(1837～1928)筆	日本	明治40～昭和3年(1907-28)	
32	34	鶴彦翁赤石山登頂の歌及写真	大倉喜八郎(1837～1928)筆	日本	大正15年(1926)	
33	35	『鶴乃とも』	大倉喜八郎(1837～1928)ほか著 田邊浩(生没年不詳)編	日本	大正5年(1916)2月4日刊 東京経済大学蔵	

作品リスト

展示No	図録No	名称	作者・寄贈者等	制作地	時代・年代	所蔵・備考・展示替
34	36	『狂歌 鶴彦集』	大倉喜八郎(1837~1928)著 畑徳三郎(生没年不詳)編・発行	日本	大正13年(1924)9月24日刊	
35	37	『狂歌 あふひ艸』	門野重九郎(1867~1958)編	日本	昭和9年(1934)刊	
36	38	襲名の事	大倉久美子(1889~1972)筆 門野正二(1900~1996)筆	日本	昭和39年(1964)	
37	39	廓残暑	大倉喜八郎(1837~1928)筆	日本	大正15年(1926)	
38	展示のみ	小池藤五郎所用印		日本		
39	40	大倉喜八郎所用印	岡部香塙(生没年不詳)、 天池居士滯(生没年不詳)ほか刻	日本	大正~昭和初期・20世紀	早稲田大学會津八一 記念博物館蔵
40	63	大倉喜八郎・喜七郎所用印	石井雙石(1873~1971)刻	日本	大正15年(1926)	古梅園蔵
41	65	『續在盧樽桑印集一天下 唯一東魚大人自筆原拓本』	松丸東魚(1901~75)編	日本	昭和47年(1972)編	1/1~展示位置変更
42	62	墨「清籟入雲」		日本	平成15年(2003)	1/1~
43	64	大倉喜七郎所用印	関野香雲(1887~1959)刻	日本	大正15年(1926)	対聯はNo.1で展示
特別出品	展示のみ	◎銚絵寿老図六角皿	尾形光琳(1658~1716)画、 尾形乾山((1663~1743)作	日本	江戸時代・18世紀	個人蔵
44	58	扁額「感涼更新」附対聯	松本芳翠(1893~1971)書 宮尾荷汀(?~1942)刻	日本	昭和4年(1929)カ	個人蔵
45	60	端溪石瓜觥硯		中国	清時代・順治12(1655)刻銘	
46	61	田黄獅子鈕印(無刻印)		中国	清時代~民国時代初期・17~20世紀	
47	41	於日露交渉所感詩	伊藤博文(1841~1909)筆	日本	明治37~42年(1904~09)	
48	42	春畝公所感詩に対する和韻詩	金子堅太郎(1853~1942)筆	日本	昭和5年(1930)	
49	43	春畝、溪水所感幅の由来書	大倉喜七郎(1882~1963)筆 金子堅太郎(1853~1942)筆	日本	昭和5年(1930)	
50	49	大倉定七墓碑銘並びに識語	渋沢栄一(1840~1931)筆	日本	大正14年(1925)	
51	46	六然訓	勝海舟(1823~99)筆	日本	明治12年(1879)	
52	47	昭憲皇太后の和歌	東郷平八郎(1848~1934)筆	日本	大正~昭和初期・20世紀	
53	48	静夜の詩	西園寺公望(1849~1940)筆	日本	大正6年(1917)	
54	44	一行書「静坐庭軒寄興長」	有栖川宮熾仁親王(1835~95)筆	日本	明治11年(1878)8月	
55	45	和歌短冊	有栖川宮熾仁親王妃 董子 (1855~1923)筆、 有栖川宮威仁親王妃 慰子 (1864~1923)筆	日本	明治~大正・20世紀	
56	51	大倉聴松翁頌徳碑文	大崎新吉(1888~1978)撰 松本芳翠(1893~1971)書	日本	昭和38年(1963)	
57	50	録沈石田安居歌	松本芳翠(1893~1971)筆	日本	昭和4年(1929)	
屋外	52	大倉聴松翁頌徳碑	大崎新吉(1888~1978)撰 松本芳翠(1893~1971)書	日本	昭和38年(1963)11月建立	
58	54	宸題「河水清」	大倉喜七郎(1882~1963)筆	日本	大正15年(1926)正月	
59	53	戊辰書道會ノ頭之印		日本	昭和3年(1928)	
60	55	煮梅花図	大倉喜七郎(1882~1963)書 川合玉堂(1873~1957)画	日本	大正~昭和初期・20世紀	
61	展示のみ	朝窮数理の詩	大倉喜七郎(1882~1963)筆	日本	大正~昭和初期・20世紀	
62	57	仙石原	大倉喜七郎(1882~1963)筆 松本芳翠(1893~1971)添削	日本	大正~昭和初期・20世紀	
図録のみ	56	偶感	大倉喜七郎(1882~1963)筆 松本芳翠(1893~1971)添削	日本	大正~昭和初期・20世紀	

展示No	図録No	名称	作者・寄贈者等	制作地	時代・年代	所蔵・備考・展示替
63	59	「流水・清風」対聯	谷村憲齋(1922~2008)筆	日本	平成2年(1990)頃	個人蔵
64	72	『観月集』	大倉喜七郎(1882~1963)編	日本	昭和3年(1928)カ	~12/28
65	73	『南汎集』	大倉喜七郎(1882~1963)編	日本	昭和3年(1928)カ	1/1~展示位置変更
特別出品	展示のみ	山水蒔絵硯箱		日本	江戸時代・17世紀	1/1~
66	66	行書王之涣涼州詞軸	王一亭(1867~1938)筆	中華民国	民国時代・20世紀	
図録のみ	67	行書五言聯	王一亭(1867~1938)筆	中華民国	民国時代・20世紀	
67	68	月夜度函嶺	田辺碧堂(1864~1931)筆	日本	大正15年(1926)	
68	69	返礼の詩	若槻礼次郎(1866~1949)筆	日本	大正~昭和初期・20世紀	
69	70	暁発白河城	宮島詠士(1867~1943)筆	日本	大正~昭和初期・20世紀	
70	71	望赤石山	仁賀保香城(1877~1945)筆	日本	大正~昭和初期・20世紀	
71	展示のみ	『東華』60集	土屋竹雨(1887~1958)編・発行	日本	昭和8年(1933)	
72	展示のみ	『謡曲二百十番絶句』	木村芥舟(1830~1901)筆、 仁賀保香城(1877~1945)編・発行	日本	昭和4年(1929)	~12/28
73	展示のみ	『大正五百家絶句』	内野悟(生没年不詳)・ 仁賀保香城(1877~1945)・ 土屋竹雨(1887~1958)編・発行	日本	昭和2年(1927)	~12/28

出品数：73件 ◎は重要文化財

令和5 (2023) 年度 (5)

企画展 大倉集古館の春—新春を寿ぎ、春を待つ

会 期：令和6(2024)年1月23日(火)～3月24日(日)

※2/13(火)ピアノリサイタル

※3/11(月)特別ギャラリートーク

開館時間：10時～17時

開催日数：56日間 ※イベント2日含む

入場者数：9,676人(1日平均約172.8人)

入 場 料：一般1,000円、大学・高校生800円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団・大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」

担 当：四宮美帆子(主任学芸員)、高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

令和6年の春を祝し、干支や吉祥、花鳥風月をテーマとした絵画を中心に展覧いたしました。

新春の造形として、まずは末広がりの扇の作品から。不思議な縁によって大倉集古館へ収蔵された宗達派による《扇面流図屏風》を始め、日本や中国で作られた扇絵のコレクションを展示いたしました。また、本年の干支である辰に因んだ伝説の生き物・龍をテーマにした作品も。大倉集古館だからこそ見られる中国伝統の衣装や珍しい古代の硯などもご紹介。そして、新春から春にかけての美しい景物を描いた作品では、名品として名高い横山大観筆《夜桜》を展示。他にも墨の諧調で春を知らせる水墨画や、彩りで春を魅せる着色の作品を取り上げ、新春を寿ぎ、来る春を待つ時期にふさわしい当館所蔵品をお楽しみいただきました。

展示構成：

第1章 寿ぎの造形～扇

第2章 辰年の造形～龍

第3章 季節の造形～雪・梅・桜の絵画

第4章 めでたさの造形～工芸品



チラシ



展示風景

関連イベント

①ギャラリートーク

日 時：2/2(金)、2/22(木)、3/19(火)

担 当：四宮美帆子(主任学芸員)

場 所：大倉集古館 展示室

参加人数：50人(2/2)、56人(2/22)、89人(3/19)

②特別ギャラリートーク

日 時：3/11(月)10時～12時

担 当：四宮美帆子(主任学芸員)

場 所：大倉集古館 展示室

料 金：1,500円

参加人数：フランス語婦人会 参加人数 26人

③戸室玄ピアノリサイタル～音楽と美術のタペ～

日 時：2/13(火)18時30分～19時30分

出 演：戸室玄

場 所：大倉集古館 2階展示室

料 金：3,500円(観覧会料金を含む)

参加人数：94人



①ギャラリートーク



②ピアノリサイタル

作品リスト

No	名称	作者・産地等	員数	時代・年代
1階				
1	狂歌扇面「ゆるがせにして」	大倉嘉八郎(1837～1927)筆	1幅	明治～昭和初期・20世紀
2	古屏風奇遇乃記	福地源一郎(1841～1906)書、 荒木探令(1857～1931)画	1幅	明治30年(1897)12月20日
3	◎長生殿蒔絵手箱		1合	鎌倉時代・13～14世紀
4	扇面流図屏風	宗達派	6曲1双	江戸時代・17世紀
5	花卉図(清朝名人便面集珍のうち)	顔翔(生没年不詳)筆	1面(16図のうち)	中国、清時代・17～19世紀カ
6	蘭竹図(清朝名人便面集珍のうち)	馬守真(1548～1604)筆	1面(16図のうち)	中国、明時代・万曆24年(1596)
7	青緑山水図(清朝名人便面集珍のうち)	赫奕(1667～1744)筆	1面(16図のうち)	中国、清時代・17～18世紀
8	砥柱中流図(清朝名人便面集珍のうち)	任履吉(生没年不詳)筆	1面(16図のうち)	中国、清時代・17～19世紀
9	龍頭		1軀	中国、南北朝時代・6世紀
10	魁頭		1面	中国、南北朝時代・6世紀
11	盤龍石硯		1合	中国、後漢時代・2～3世紀
12	兪龍透文鏡および裏金具		3面	中国、春秋時代～戦国時代・前5世紀
13	方格規矩四神鏡		1面	中国、漢時代・前1～後1世紀
14	四乳四神鏡		1面	中国、漢時代・前1世紀
15	仙人に龍図	筆者不詳	2幅	江戸時代・18世紀
16	紫縹子地雲龍模様刺裂		1枚	中国、清～民国時代・19～20世紀
17	男靠(鎧)		1領	中国、清～民国時代・19～20世紀
18	蟒袍		1領	中国、清～民国時代・19～20世紀
19	蛭子和尚・龍虎図	曾我二直庵(?～1657～?)筆	3幅	江戸時代・17世紀
20	文殊菩薩・雲龍・竹虎図	狩野探幽(1602～1674)筆	3幅	江戸時代・17世紀
2階				
21	梅鶯図	狩野常信(1636～1713)筆	3幅	江戸時代・17世紀
22	梅柳叭々鳥図	葉大年(生没年不詳)筆	1幅	中国、明時代・14～17世紀カ
23	花鳥図	筆者不詳	2幅	江戸時代・17世紀
24	○青磁香炉	龍泉窯	1口	中国、南宋～元時代・13～14世紀
25	四季風景図棚	土佐光孚(1780～1852)画	1架	江戸時代・19世紀
26	御家流十組香三十種		20包(30包のうち)	
27	袱紗	保坂なみ(1878～1960)作	1枚	明治～昭和・20世紀
28	和刺繍習作	保坂なみ(1878～1960)作	1枚	明治～昭和・20世紀
29	四君子象嵌重硯箱	木内半古(1855～1933)作	1合	昭和6年(1931)
30	色絵芙蓉手花鳥図大皿	伊万里	1枚	江戸時代・17世紀
31	青磁染付宝尽文大皿	鍋島	1枚	江戸時代・18世紀
32	◎鏤絵寿老図六角皿	尾形光琳(1658～1716)画、 尾形乾山(1663～1743)作	1枚	江戸時代・17世紀
33	山水図硯箱	粟生屋窯	1合	江戸時代・19世紀
34	山水蒔絵硯箱		1合	江戸時代・17世紀
35	群鶴田園蒔絵硯箱		1合	明治18年(1885)
36	富士裾野図蒔絵文台		1基	明治18年(1885)
37	夜桜	横山大観(1868～1958)筆	6曲1双	昭和4年(1929)
38	文鳥	横山大観(1868～1958)筆	1幅	昭和・20世紀
39	寒牡丹	横山大観(1868～1958)筆	1幅	昭和・20世紀
40	木菟図	小林古径(1883～1957)筆	1幅	昭和4年(1929)
41	雪之水車	佐々木尚文(1890～1970)筆	1面	昭和6年(1931)
42	柳に鶯図屏風	筆者不詳	6曲1双	江戸時代・18世紀

出品数：42件 ◎は重要文化財 ○は重要美術品

令和6(2024)年度(1)

特別展 浮世絵の別嬪さん—歌麿、北斎が描いた春画とともに—

会 期：令和6(2024)年4月9日(火)～6月9日(日)

※前期：4/9(火)～5/6(月・休)

※後期：5/8(水)～6/9(日)

※4/8(月)は内覧会(報道・一般)

※4/30(火)は特別開館

開館時間：10時～17時 ※金曜日は～19時

開催日数：56日間 ※内覧会等2日含む

入場者数：11,799人(1日平均約210.7人)

入 場 料：一般1,500円、大学・高校生1,000円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室、地下1階ロビー

主 催：公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

企画協力：株式会社江戸文物研究所

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

監 修：内藤正人(慶應義塾大学文学部教授、同アート・
センター所長)

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」

図 録：本文151頁(21.0×29.7cm)

執筆：内藤正人ほか

翻訳：フランク・ウィットカムほか

ブックデザイン：石島章輝(インジマデザイン制作室)

制作：小田容子、高橋知男(株式会社アイワード)

印刷：株式会社アイワード

編集・発行：公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

担 当：平塚泰三(学芸部長)、四宮美帆子(主任学芸員)、
高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

浮世絵は、江戸時代に花開いた往時を象徴する日本美術の作品群です。一般に浮世絵の享受者は、従来の朝廷や上級武家とは異なり、零細な商工業者をはじめとする町人たちであり、浮世絵は近世の庶民文化が育んだものと言われています。しかし、そうした浮世絵の中には、いわゆる版画とは異なり、比較的裕福な町人に需要者を多く持ち、さらに稀には天皇や将軍、大名たちが所有、鑑賞した絵画作品があり、浮世絵ではそれらを「肉筆画」と呼んでいます。

本展覧会は、これら一点ものの絵画作品である肉筆浮世絵のなかでも、美人画に焦点をあてました。美人画は、流派によって面貌や姿態の表現に個性が表れるものですが、特に絵画であるがゆえの直筆の冴えからは、同時代の大衆世界の美意識を如実に感じることができます。展示では、浮世絵誕生直前の一七世紀の岩佐又兵衛や初期風俗画を発端とし、開祖である菱川師宣以降、江戸後期

の喜多川歌麿や葛飾北斎らに至るまでの歴代の著名な浮世絵師たちの活躍を、美人画絵画の名品でとりました。また、浮世を謳歌した江戸時代の人々の性に対するおおらかさを示す事例として、艶やかで妖しい春画の名品も、合わせてご紹介いたしました。

展示構成：

第1章：初期風俗画と又兵衛、そして師宣の誕生—17世紀

第2章：安度、長春の隆盛—18世紀前期までの美人画

第3章：長春、歌麿、栄之の精華—18世紀後期の美人画

第4章：葛飾北斎と歌川派の浮世絵師—19世紀の美人画

第5章：めくるめく春画の名品



チラシ



図録



展示風景



関連イベント

①内覧会(報道・一般)

日 時：4/8(月)13時30分～15時(報道)、
15時～17時(一般)
参加人数：報道6人、一般149人(合計155人)

②講演会1

「美人画万歳! 浮世絵の核心を物語る、優美なアイコン」
日 時：4/14(土)14時～15時
講 師：内藤正人(本展監修者、慶應義塾大学教授、
慶應義塾大学アート・センター所長)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：54人



②講演会

③講演会2「春画鑑賞の視角」

日 時：5/11(土)14時～15時
講 師：樋口一貴(十文字学園女子大学教授)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：50人



③講演会

④講演会3「北斎と弟子たち一さまざまな肉筆画」

日 時：5/19(土)14時～15時
講 師：日野原健司(太田記念美術館首席芸員)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：52人



④講演会

⑤ギャラリートーク

日 時：4/26(金)、5/2(木)、5/16(木)、5/21(火)、6/4(火)、
各14時～15時
担 当：平塚泰三(学芸部長)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：無料(要入館券)
参加人数：40人(4/26)、30人(5/2)、23人(5/16)、
45人(5/21)、63人(6/4)



⑤ギャラリートーク

作品リスト

展示No	展示期間	作者	指定・名称	制作年代	技法	員数	所蔵
1階 第1章 初期風俗画と又兵衛、そして師宣の誕生－17世紀							
1	前期	無款	遊楽図屏風	江戸時代 17世紀前期～中期	紙本着色	六曲一隻	個人蔵
2	後期	無款	舞妓図屏風	寛永(1624～44)	紙本着色	六曲一隻	個人蔵
3	前期	岩佐又兵衛	○伊勢物語図「梓弓」(樽屋屏風)	江戸時代 17世紀前期	紙本着色	一幅	個人蔵
4	前期	無款	役者と美人図	寛文(1661～73)	紙本着色	双幅	個人蔵
5	後期	岩佐又兵衛	連舞之図	江戸時代 17世紀中期	紙本着色	一幅	個人蔵
6	後期	無款	兵庫鬻立美人図	寛文(1661～73)	紙本着色	一幅	個人蔵
7	後期	無款	立美人図	江戸時代 17世紀中期～後期	紙本着色	一幅	個人蔵
8	通期	無款	京月次風俗画帖	江戸時代 17世紀後期～18世紀前期	紙本着色	一帖	個人蔵
9	通期	無款	邸内遊楽図	江戸時代 17世紀中期～後期	紙本着色	全十二図の内二図	(公財) 清水軒記念文化振興財団
10	通期	菱川師宣	紅葉下立美人図	元禄元～7年(1688～94)	絹本着色	一幅	個人蔵
11	前期	菱川師宣	馬上若衆図	元禄元～7年(1688～94)	絹本着色	一幅	個人蔵
12	前期	田村水鷗	隅内川舟遊図	元禄～享保(1688～1736)	絹本着色	一幅	個人蔵
13	後期	菱川師宣	美人立姿図	元禄(1688～1704)	絹本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
14	後期	菱川師平	伊勢物語 河内越え	元禄(1688～1704)	絹本着色	一幅	(公社) 川崎・砂子の里資料館
15	後期	山崎女龍	見立普賢菩薩図	享保(1716～36)頃	紙本着色	一幅	個人蔵
1階 第2章 安度、長春の隆盛－18世紀前期までの美人画							
16	前期	懐月堂安度	立美人図	宝永～正徳(1704～16)	紙本着色	一幅	千葉市美術館
17	前期	懐月堂安度	語らいの図	宝永～正徳4年(1704～14)	絹本着色	一幅	個人蔵
18	前期	懐月堂安知	立姿美人図	正徳～享保(1711～1736)	紙本着色	一幅	個人蔵
19	前期	宮川長春	雪中遊女道中図	正徳～享保(1711～1736)頃	絹本着色	一幅	個人蔵
20	後期	懐月堂安度	文書く美人図	宝永～正徳4年(1704～14)	紙本着色	一幅	個人蔵
21	後期	松野親信	床几にかけの美人図	宝永～正徳(1704～16)	絹本着色	一幅	個人蔵
22	後期	宮川長春	蚊帳文詠美人	享保(1716～36)頃	絹本着色	一幅	(公社) 川崎・砂子の里資料館
23	前期	宮川長春	太夫立姿図	正徳～享保(1711～1736)頃	絹本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
24	前期	宮川長春	室内遊興図	宝永～正徳(1704～16)頃	絹本着色	一幅	(公社) 川崎・砂子の里資料館
25	前期	宮川長春	見立乗鶴仙人図	享保(1716～36)頃	紙本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
26	前期	川又常行	廓内太夫道中図	享保～寛保(1716～44)頃	絹本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
27	後期	宮川一笑	桜花遊宴の図	元文～寛延(1736～51)頃	紙本着色	一幅	個人蔵
28	後期	宮川春水	洗濯する美人図	寛保～寛延(1741～51)頃	紙本着色	一幅	個人蔵
29	後期	鳥居清春	二美人図	享保(1716～36)頃	紙本着色	双幅	個人蔵
2階 第3章 春章、歌麿、栄之の精華－18世紀後期の美人画							
30	前期	磯田湖龍斎	花魁禿歩行図	天明(1781～89)初期頃	絹本着色	一幅	(公社) 川崎・砂子の里資料館
31	前期	勝川春章	立姿美人図	天明3～7年(1783～87)頃	絹本着色	一幅	中外産業株式会社(原安三郎コレクション)
32	前期	勝川春章	花魁と禿図	寛政(1789～1801)初期頃	絹本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
33	前期	窪俊満	萩の玉川二美人図	天明(1781～89)後期頃	絹本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
34	前期	水野虞朝	妓楼遊興図	寛政～文化(1789～1818)	絹本着色	一幅	個人蔵
35	後期	磯田湖龍斎	太夫と禿図	天明(1781～89)頃	絹本着色	一幅	個人蔵
36	後期	勝川春章	立姿美人図	安永6～8(1777～79)頃	絹本着色	一幅	個人蔵(旧ビゲローコレクション)
37	後期	勝川春章	○雪月花図	天明7～8年(1787～88)	絹本着色	三幅対	MOA美術館
38	前期	北尾政演	杜鵑と美人図	天明(1781～89)頃	紙本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
39	前期	西川祐信	太夫と禿時鳥を聴く図	江戸時代 18世紀前期～中期	紙本着色	一幅	(公社) 川崎・砂子の里資料館
40	前期	祇園井特	大首美人図	江戸時代 18世紀後期～19世紀中期	紙本着色	一幅	個人蔵
41	後期	勝川春章	床几美人図	寛政(1789～1801)初期頃	絹本着色	一幅	(公財) 清水軒記念文化振興財団
42	後期	鳥居清長	○水楼遊宴図	天明3年(1783)頃	紙本着色	一幅	個人蔵
43	後期	月岡雪鼎	拳遊び図	天明元～2年(1781～82)頃	絹本着色	一幅	個人蔵
44	通期	勝川春章	青楼遊宴図	天明8年(1788)頃	絹本着色	一幅	個人蔵(旧ビゲローコレクション)

作品リスト

展示No	展示期間	作者	指定・名称	制作年代	技法	員数	所蔵
45	通期	歌川広重	蘭香美人図	嘉永～安政(1848～60)	紙本著色	一幅	回向院
46	前期	鳥文斎栄之	立美人図	文化(1804～18)後期頃	絹本著色	一幅	(公財)橋水軒記念文化振興財団
47	通期	歌川豊広	雪中花魁と禿図	文化(1804～18)	紙本著色	一幅	個人蔵
48	後期	鳥文斎栄之	蛭狩り美人図	文化(1804～18)前期頃	絹本著色	一幅	個人蔵
49	前期	喜多川歌麿	嶋台持つ娘立姿図	文化元～3年(1804～06)	絹本著色	一幅	(公財)橋水軒記念文化振興財団
50	前期	喜多川歌麿	蛭狩り美人図	享和期(1801～04)頃	絹本著色	一幅	個人蔵
51	後期	喜多川歌麿	納涼二美人図	文化元～3年(1804～06)	絹本著色	一幅	個人蔵
52	後期	喜多川歌麿	雪兎図	寛政8～享和3年(1796～1803)頃	絹本著色	一幅	個人蔵
2階 第4章 葛飾北斎と歌川派の浮世絵師—19世紀の美人画							
53	前期	葛飾北斎	詠歌美人図	文化7～文政2年(1810～19)頃	紙本著色	一幅	似鳥美術館
54	前期	歌川豊国、勝川春英、 勝川豊国、勝川春扇、青楼美人繁昌図 勝川春周、勝川春好		文化(1804～18)中期頃	絹本著色	一幅	個人蔵
55	前期	二代葛飾斗	若衆図	江戸時代 19世紀前期～中期	絹本著色	一幅	(公財)橋水軒記念文化振興財団
56	前期	蹄齋北馬	墨堤桜下草摘図	天保(1833～44)頃	絹本著色	一幅	個人蔵
57	後期	伝 葛飾北斎	三美人図	文化(1804～18)中期頃	絹本著色	一幅	(公財)橋水軒記念文化振興財団
58	後期	葛飾北斎	◎二美人図	享和(1801～04)頃	絹本著色	一幅	MOA美術館
59	後期	蹄齋北馬	立美人図	文化(1804～18)後期～文政(1818～30)	絹本著色	一幅	個人蔵
60	後期	抱亭五清	美人観楓図	文化～文政(1804～30)頃	絹本著色	一幅	個人蔵
61	前期	菊川英山	娘と風車を持つ童子図	文化(1804～18)	紙本著色	一幅	(公社)川崎・砂子の里資料館
62	前期	深斎英泉	遊女と禿図	文政～天保(1818～44)	紙本著色	一幅	大倉集古館
63	前期	歌川豊国	桜下太夫と禿図	寛政(1789～1801)中頃	絹本著色	一幅	個人蔵
64	前期	歌川豊春	納涼三美人図	天明～寛政(1781～1801)	絹本著色	一幅	個人蔵
65	後期	菊川英山	二美人図	文化(1804～18)	絹本著色	一幅	個人蔵
66	後期	深斎英泉	柳下美人図	天保(1830～44)頃	絹本著色	一幅	個人蔵
67	後期	歌川豊春	遊女と禿図	寛政(1789～1801)	絹本著色	一幅	中外産業株式会社 (原安三郎コレクション)
68	後期	歌川豊国	桜下美人図	文政(1818～30)初期	絹本著色	一幅	個人蔵
69	前期	歌川豊広	文読美人図	文化(1804～18)中期頃	紙本著色	一幅	個人蔵
70	前期	歌川国芳	筑波山遠望向鳥三田堤庶民親櫻之図	嘉永(1848～54)	絹本墨絵	一幅	個人蔵
71	前期	歌川広重	藤娘	嘉永(1848～54)	絹本著色	一幅	個人蔵
72	前期	歌川広重	三美人図	文政(1818～30)頃	紙本著色	三幅対	似鳥美術館
73	後期	歌川豊広	竹林七姉図	文政(1818～30)	紙本著色	一幅	個人蔵
74	後期	香蝶楼国貞	太夫立姿図	天保(1830～44)初期	紙本著色	一幅	個人蔵
75	後期	歌川国芳	三美人化粧之図	嘉永(1848～54)	絹本著色	一幅	(公財)橋水軒記念文化振興財団
76	後期	月岡芳年	雪中常盤図	明治20年(1887)頃	絹本著色	一幅	(公財)橋水軒記念文化振興財団
2階 第5章 めくるめく春画の名品							
77	通期	歌川国貞	金瓶梅	天保12～弘化元年(1841～44)	絹本著色		個人蔵
78	前期	葛飾北斎	閨中交歡図	文化7～10年(1810～13)	紙本著色		個人蔵
79	通期	歌川豊広	男女風俗図	寛政(1789～1801)初期	紙本著色		千葉市美術館
80	通期	喜多川歌麿	歌満くら	天明8年(1788)	大判錦絵		個人蔵
81	通期	喜多川歌麿	歌満くら	天明8年(1788)	大判錦絵		個人蔵
82	通期	鳥文斎栄之	源氏物語春画卷	寛政(1789～1801)末～文化(1804～18)頃	絹本著色		個人蔵
83	前期	宮川長春	秘戯図巻	享保(1716～36)前期	絹本著色		個人蔵
84	後期	歌川豊春	艶画十貳図	天明～寛政(1781～1801)頃	紙本著色		個人蔵
85	通期	鳥居清信	春秋絵巻	正徳(1711～16)頃	絹本著色		個人蔵
86	通期	葛飾北斎	波千鳥	文政(1818～30)末～天保(1830～44)頃	大判墨摺手彩色		個人蔵

出品数：86件 ◎は重要文化財 ○は重要美術品

令和6(2024)年度(2)

特別展 大成建設コレクション もうひとりのル・コルビュジエ—絵画をめぐる—

会 期：令和6(2024)年6月25日(火)～8月12日(月・休)

※6月24日(月)内覧会等

※7月1日(月)ピアノリサイタル

開館時間：10時～17時 ※金曜日は～19時

開催日数：44日間 ※内覧会等2日含む

入場者数：14,522人(1日平均約330.0人)

入 場 料：一般1,500円、大学・高校生1,000円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室、地下1階ロビー

主 催：公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館、
大成建設株式会社

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
早稲田大学建築学科

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」

図 録：本文142頁(25.8×18.0cm)

企画・編集：林美佐(大成建設ギャラリー・
タイセイ学芸員)

表紙デザイン：榊原健祐(Iroha Design)

本文デザイン・制作：株式会社マップス、
株式会社 Echelle-1

担 当：平塚泰三(学芸部長)、四宮美帆子(主任学芸員)、
高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

「私の探求や知的生産の根底の秘密は、絶え間ない絵画実践のなか
にあるのです。」*

フランスを拠点に活動した建築家ル・コルビュジエ(1887～
1965)は、7か国にある17資産がユネスコの世界文化遺産に登録
されるなど、20世紀を代表する重要な建築家として高く評価
されていますが、同時に数多くの美術作品を残したアーティスト
としても知られています。

本展では、世界有数の所蔵作品をもつ大成建設ル・コルビュジエ・
コレクションの中から約130点の作品を展示することで、ル・
コルビュジエの美術作家としての側面をご紹介いたしました。本
コレクションの素描やパピエ・コレ作品がまとめて公開される
のはおよそ30年ぶりのことでした。本展をご覧いただくことで、
建築を含めたル・コルビュジエのすべての創作活動の根底にあっ
た、彼の絵画への情熱に気づいていただけることと思いました。

※"Le Corbusier Lui Même" (『ル・コルビュジエ みずから語る生
涯』P250)

展示構成：

1：ピュリズムから詩的なオブジェまで

2：女性たち 踊る女性 たくましい女性 かつろぐ女性 人体の変容

3：象徴的モチーフ 牡牛 一角獣 イコン モデュロール 開いた手

4：グラフィックな表現

5：建築模型と書籍



チラシ



図録



展示風景

関連イベント

①大成役員内覧会、報道内覧会、一般内覧会

日 時：6/24(月)10時～11時(大成役員内覧会)、
13時～14時30分(報道内覧会)、
14時45分～17時(一般内覧会)

参加人数：大成役員内覧会45人、報道内覧会28人、
一般内覧会80人(合計153人)

②特別内覧会・特別レセプション

日 時：6/25(火)17時～18時(内覧会)
18時～20時(レセプション)

参加人数：37人

③講演会1「ル・コルビュジエの眼」

日 時：6/30(日)14時～15時30分
講 師：古谷誠章(建築家、早稲田大学教授)、
藤井由理(建築家、早稲田大学招聘研究員)

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス 57号館 201号室

料 金：無料

参加人数：208人

④鼎談「ル・コルビュジエの絵画が語りかけること」

日 時：7/6(土)13時～14時30分
講 師：青木淳(建築家、京都市京セラ美術館館長)、
加藤道夫(東京大学名誉教授)、
中村研一(建築家、中部大学教授)

場 所：国際文化会館講堂

料 金：無料

参加人数：64人

⑤講演会2「ル・コルビュジエの建築と絵画を語る」

日 時：7/21(日)14時～15時30分

講 師：隈研吾(建築家、東京大学特別教授・名誉教授、
早稲田大学特命教授)

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス 57号館 201号室

料 金：無料

参加人数：265人

⑥ギャラリートーク

日 時：7/10(水)、7/17(水)、7/24(水)、7/31(水)
各15時～16時

講 師：林美佐(大成建設ギャラリー・タイセイ主任学芸員、
本展監修者)

場 所：大倉集古館 展示室

料 金：無料

参加人数：65人(7/10)、80人(7/17)、70人(7/24)、
115人(7/30)

⑦戸室玄ピアノリサイタル～フランス美術と音楽のタペ～

日 時：7/1(月)18時30分～19時30分

出 演：戸室玄

場 所：大倉集古館 2階展示室

料 金：4,500円

参加人数：108人



②特別レセプション



③講演会



④鼎談



⑤講演会



⑥ギャラリートーク



⑦ピアノリサイタル

作品リスト

展示No	作品タイトル	英語タイトル	作者	制作年	技法・素材
1階 象徴的モチーフ 牡牛 一角獣 イコン モデュロール 開いた手					
1	「ル・コルビュジエ ニューヨーク 1947」	Le Corbusier New York 1947	アーヴィング・ペン Irving PENN	1947	モノクロ ゼラチンシルバープリント
2	牡牛XVIII	Bull XVIII		1959	グアッシュ、カンヴァス
3	闘牛	Bullfighting		1929	紙、鉛筆、水彩
4	闘牛	Bullfighting		1929	紙、鉛筆
5	女のいるコンポジション	Composition with woman		1955	紙、鉛筆、チョーク
6	顔	Face		1956	紙、グアッシュ、チョーク
7	コンポジション	Composition		1959	(パピエ・コレ)紙、インク
8	コンポジション	Composition		1963	紙、水彩、インク
9	コンポジション	Composition		1959-63	セルロイド板、グアッシュ
10	コンポジション	Composition		1963	セルロイド板、グアッシュ
11	手と人物	Hand and figures		-	紙、水彩、チョーク
12	チャンディガール	Chandigarh		1951	紙、鉛筆、インク、チョーク
13	開いた手	Open hand		1948	紙、インク、グアッシュ
14	手	Hand		1956	(パピエ・コレ)紙、インク
15	あなたの手の中に私の翼を握ってください	<Hold my wing in your hand>		1946	(パピエ・コレ)紙、インク
16	あなたの手の中に私の翼を握ってください	<Hold my wing in your hand>		1946	紙、グアッシュ、インク、鉛筆
17	コンポジション	Composition		1959	(パピエ・コレ)紙、グアッシュ、インク、鉛筆
18	女と手	Woman and hand		1948-49	紙、チョーク、グアッシュ
19	直角の詩 B-2	Poem of the Right Angle		1955刊	リトグラフ
20	三人の人物(モデュロール)	Three figures (Modulor)		1960	(パピエ・コレ)紙、グアッシュ、インク、チョーク
21	女のいるコンポジション	Composition with a woman		1933-52	(パピエ・コレ)紙、インク
22	女の顔 (イヴォンヌ・ガリ)	Head of woman		1929	紙、鉛筆
23	手を組んで	Hands crossed		1929	紙、鉛筆
24	よりかかる女	Woman leaning on		1930-50	紙、インク
25	翼のある女	Woman with wings		1952	茶色の紙、インク、ボールペン
26	肘をつく人物像	Figure on elbow		1953	紙、グアッシュ、チョーク、鉛筆
27	顔のあるコンポジション	Composition with head		1956	茶色の紙、グアッシュ、チョーク、鉛筆
28	コップの前の人物	Person in front of a glass		1935	紙、インク
29	手を組んだ女	Woman with crossed hands		1950	紙、グアッシュ、水彩、インク
30	人物	Figure		1964	紙(薄茶)、水彩、インク
31	チャンディガール	Chandigarh		1953	紙、鉛筆、インク、チョーク
32	テーブルにつく人物	Figure at the table		1939-52	(パピエ・コレ)紙、グアッシュ、インク、鉛筆
グラフィックな表現					
33	青い横顔	Blue profile		1950	紙、水彩、インク
34	よりかかる女	Woman leaning on		-	紙、インク
35	肖像	Effigy		1951	紙、インク
36	犬と女	Dog and a woman		1951	紙、インク
37	一角獣	Unicorn		1951	紙、インク
38	直角の詩	Poem of the Right Angle		1955刊	リトグラフ
39	二つの間に	Between the two		1964刊	リトグラフ
40	「ル・コルビュジエ タピスリー展」	Exhibition "Le Corbusier Tapestries"		1963	リトグラフ
41	「ル・コルビュジエ展」	Exhibition "Le Corbusier" National Museum of Modern Art		1962	リトグラフ
42	イコン	Icon		1963	木、スチール軸
43	行列	Procession...		1962刊	リトグラフ
44	奇妙な鳥と牡牛	Strange Bird and a Bull		1957	ウール織物
45	LC4 シェーズ・ロング	LC4 Long chair	C.ペリアン、P.ジャンヌレル・コルビュジエ	1928 オリジナル	鋼管、布、皮革他

展示No	作品タイトル	英語タイトル	作者	制作年	技法・素材
46	LC2 グラン・コンフォール	LC2 Grand Comfort	C.ペリアン、P.ジャンヌレル・コルビュジエ	1928 オリジナル	鋼管、布、皮革他
47	LC1 バスキュラン・シェーズ	LC1 Basculant Chair	C.ペリアン、P.ジャンヌレル・コルビュジエ	1928 オリジナル	鋼管、布、皮革他
2階 ビュリスムから 詩的なオブジェまで					
48	ヴァイオリンとヴァイオリンケース	Violin and violin case		1920	紙、鉛筆
49	静物	Cubist still life		1921	紙、インク
50	静物 ギターと瓶	Still life, guitar and bottle		1922	紙、鉛筆
51	静物	Cubist still life		1923	紙、鉛筆
52	コンポジション	Cubist composition		1926	紙、色鉛筆、チョーク
53	静物	Cubist still life		1921	紙、水彩、チョーク
54	ファヴェーラ(リオ・デ・ジャネイロのスラム)	La Favellas		1929	紙、鉛筆、水彩
55	飛行機からのリオの眺望	Views of Rio from the aircraft		1929	紙、鉛筆、水彩
56	リオ・デ・ジャネイロの眺望	Views of Rio de Janeiro		1929	紙、鉛筆、水彩
57	ファヴェーラ(リオ・デ・ジャネイロのスラム)	La Favellas		1929	紙、鉛筆、水彩
58	サントス港	Port of Santos		1929	紙、鉛筆、水彩
59	サントス風景	Santos landscape		1929	紙、鉛筆、水彩
60	静物	Still life		1928	紙、鉛筆
61	コンポジション	Composition		1928	紙、インク、チョーク、鉛筆
62	レア	Léa		1931	油彩、カンヴァス
63	犬とコップのあるコンポジション	Composition with dog and glass		1932	紙、インク、チョーク
64	青い犬のいるコンポジション	Composition with blue dog		1933	紙、鉛筆、チョーク
65	女の顔(ジョセフィン・ベーカー)	Woman's head		-	紙、鉛筆、チョーク
66	女の立像(ジョセフィン・ベーカー)	Woman standing		1929	紙(淡青色)、鉛筆、チョーク
67	くつろぐ女(ジョセフィン・ベーカー)	Woman lying down		1929	紙、鉛筆、チョーク
68	女の立像(ジョセフィン・ベーカー)	Woman standing		1929	紙、鉛筆、チョーク
69	青い靴の裸婦	Nude woman with blue shoes		1929	紙、チョーク、鉛筆
70	腕を上げた裸婦	Nude woman with raised arms		1929	紙、チョーク、鉛筆
71	女の立像	Woman standing		1933	紙、チョーク、鉛筆
72	裸婦	Nude woman		1931	紙、鉛筆、インク、チョーク
73	二人の裸婦	Two nude women (reflection?)		1931	紙、インク、鉛筆
74	二人の裸婦	Two nude women		1932	紙、鉛筆、チョーク
女性たち 踊る女性 たくましい女性 くつろぐ女性 人体の変容					
75	男と女	Man and woman		-	紙、チョーク、鉛筆
76	レスリング	Wrestling		-	紙、チョーク、鉛筆
77	着物を脱ぐ二人の女	Two women		1930	紙、インク、チョーク
78	レスリングをする二人の女	Two women fighting		-	紙、チョーク、インク
79	二人の女	Two women		1928-62	紙、グアッシュ、インク
80	二人の女	Two women		1934	紙、グアッシュ、鉛筆、チョーク
81	サーカス 女性と馬	Circus, woman and horse		1929	油彩、カンヴァス
82	二人の裸婦	Two nude women		1933	紙、チョーク
83	二人の女	Two women		1933	紙、インク、チョーク
84	軽やかな女性	Lightweight woman		1931	紙、インク、チョーク
85	カスタネットを持つ女	Woman with castanets		1930	紙、インク、チョーク
86	裸婦立像	standing nude woman		1929	紙、インク、チョーク
87	扇子を持つ女	Woman with a fan		1930	紙、インク、チョーク
88	豹の毛皮の上の半裸の女	Half-dressed woman on a leopard skin		1929	紙、インク、水彩
89	ダンスをする二人の裸婦	Two dancing nude women		1931	紙、インク、鉛筆
90	歌う四人の女性	Four women singing		1932	紙、インク、チョーク

作品リスト

展示No.	作品タイトル	英語タイトル	作者	制作年	技法・素材
91	水着を着た三人の女	Three women in swimwear	C.ベリアン、P.ジャンヌレル・コルビュジエ	1932	紙、鉛筆
92	三人の裸婦	Three nude women	C.ベリアン、P.ジャンヌレル・コルビュジエ	1930	紙、鉛筆、色鉛筆
93	裸婦と半裸の女と着物を着た女	A nude woman, a half-dressed woman, a dressed woman		1933	紙、チョーク、鉛筆
94	女と静物	Woman and still life		-	トレーシングペーパー、チョーク鉛筆
95	女性のアコーディオン弾きとオリンピック走者	The accordion player and the Olympic runner		1928-32	油彩、カンヴァス
96	走る男	Running man		1953	紙、チョーク
97	テーブルにつく二人の裸婦	Two nude women at the table		-	紙、インク、水彩
98	休息	Relaxation		1930	紙、インク
99	寝ころぶ二人の裸婦	Two nude women		1931	紙、インク、チョーク
100	長椅子 ソファに座る裸婦と犬、カラフェ	Nude woman on sofa with dog and carafe		1934	油彩、カンヴァス
101	横たわる二人の裸婦	Two nude women lying down		1933	紙、水彩、インク、鉛筆
102	座る女	Woman seated		1933	紙、水彩、インク、チョーク
103	くつろぐ女	Woman lying down		1929	紙、インク、チョーク
104	眠る女	Sleeping woman		1931	紙、インク、チョーク
105	二人の裸婦	Two nude women		1928	紙、チョーク、鉛筆
106	横たわる女	Woman lying down		1934	紙、インク、チョーク
107	横たわる二人の女	Two women lying down		-	紙、チョーク、鉛筆
108	くつろぐ三人の女	Three women lying down		-	紙、インク、チョーク
109	三人の裸婦	Three nude women		1950	(パピエ・コレ)紙、インク
110	二人の裸像	Two nude figures		1932-62	紙、グアッシュ、インク
111	人物	Figures		1931	紙、鉛筆、チョーク
112	寝ころぶ二人の裸婦	Two nude women lying down		1932	紙、グアッシュ、チョーク
113	三つの人物像	Three figures		1934	紙、インク
114	赤と青の人物	Red and blue figure		1935	紙、グアッシュ
115	アコーディオンに合わせて踊る女性	Woman dancing to the accordion		1949	油彩、カンヴァス
116	人物	Figure		1962	紙(目の粗い)、チョーク
117	行列	Procession...		1962刊	リトグラフ
118	「カップ・マルタンのル・コルビュジエ」	Le Corbusier at Cap-Martin	渡辺義雄	1956	カラープリント
119	「カップ・マルタンのル・コルビュジエ」	Le Corbusier at Cap-Martin	渡辺義雄	1956	カラープリント
地下1階 建築模型と書籍					
120	『建築をめざして』	Towards a new architecture		1923	
121	『全作品集 第1巻』	Le Corbusier complete works vol1		1948	
122	『モデュロール』	The Modulor		1950	
123	『モデュロール2』	The Modulor 2		1955	
124	ワイセンホーフ・ジードルング 1家族用住宅 模型	Weissenhof-Siedlung Houses		1996制作	ボード紙
125	サヴォワ邸 模型	Villa Savoye		2010制作	ボード紙
126	クルチェット邸 模型	Curutchet House		2000制作	ボード紙
127	国立西洋美術館 模型	National Museum of Western Art, Tokyo		1997制作	ボード紙
128	『近代建築名鑑』	Almanac of Modern Architecture		1925	
129	『住宅と宮殿』	A House - a Palace		1928	
130	『十字軍あるいはアカデミーの黄昏』	Crusade or the twilight of the academy		1933	
131	『ミュロンドン構法』	"Murondins" Constructions		1942	
132	『幸福の建築、ユルバニスムが鍵』	Architecture of happiness, Urbanism is a key		1955	
133	ロンシャンの礼拝堂 模型	Notre-Dame-du-Haut chapel, Ronchamp		2015制作	石膏

出品数：133件 ※すべて大成建設株式会社所蔵 ※作者名は表記のないものはすべてル・コルビュジエ。

令和6(2024)年度(3)

企画展 大倉集古館 寄贈品展

会 期：令和6(2024)年9月14日(土)～10月20日(日)

開館時間：10時～17時 ※金曜日は～19時

開催日数：32日間

入場者数：4,450人(1日平均約139.1人)

観 覧 料：一般1,000円、大学・高校生800円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」「リーフレット」

リーフレット：A3、2つ折り4ページ

執筆：四宮美帆子(主任学芸員)

デザイン・制作・印刷：ニューカラー写真印刷株式会社

担 当：四宮美帆子(主任学芸員)、平塚泰三(学芸部長)、
高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

本展では、当館設立者である大倉喜八郎や嗣子喜七郎ゆかりの作品を含む、近年ご寄贈いただいた作品を中心に展示を行いました。大倉家が支援を行い、正倉院御物整理掛として正倉院宝物の修理を手掛けた木彫工芸家・木内半古の竹花入の優品や、息子の省古による木画の帯留、長くご寄託いただいていた大倉喜七郎ゆかりの近代絵画、古備前再現を目指した陶芸家の森陶岳による深みのある備前焼などを展示いたしました。

展示構成：

1階：近代絵画、陶磁器、書、刺繍、木工芸、奈良絵本

2階：森陶岳の陶磁器



チラシ



リーフレット



展示風景

関連イベント

①講演会「備前 森陶岳一陶芸革新を目指して」

日 時：9/14(土) 14時～15時
 講 師：諸山正則
 (工芸史家、元東京国立近代美術館主任研究員)
 場 所：大倉集古館 地下1階ホール
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：39人



①講演会

②学芸員によるギャラリートーク

日 時：9/26(木)、10/4(金)、10/8(火) 14時～15時
 担 当：四宮美帆子(主任学芸員)
 場 所：大倉集古館展示室
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：43人(9/26)、32人(10/4)、13人(10/8)



②ギャラリートーク

③Ark Hills Music Week 2024

オークラウロ TRIO コンサート
 日 時：9/28(土) 18時30分～19時30分
 出 演：小湊昭尚(オークラウロ)、土屋雄作(バイオリン)、
 野津永恒(ピアノ)
 担 当：田中知佐子(学芸員)
 場 所：大倉集古館 2階展示室
 料 金：3,500円
 参加人数：52人



③コンサート

作品リスト

展示No	作品タイトル	作者	員数	品質形状	制作年代
1階					
1	鉄釉花瓶	浜田庄司(1894~1978)	1口		昭和・20世紀
2	さやえんどう	並木瑞穂(翠甫)(1902~?)	1面	絹本着色	大正15年(1926)
3	菊	菊池契月(1879~1955)	1幅	絹本着色	昭和4年(1929)
4	暮るる山家	川合玉堂(1873~1944)	1幅	絹本着色	大正7年(1918)
5	月下鳴機	松尾晃華(1893~1983)	1面	絹本着色	大正15年(1926)
6	晩秋	荒木十畝(1872~1944)	1幅	絹本着色	昭和4年(1929)
7	山之湯	児玉素光(素行)(1890~1966)	1面	絹本着色	大正15年(1926)
8	行書王之渙涼州詞軸	王一亭(1837~1938)	1幅	紙本墨書	中国、民国時代・20世紀
9	名札「甲一年 保坂なみ」刺繍	保坂なみ(1879~1960)	1枚	絹製、紙に貼付	明治・19~20世紀
10	鳥模様刺繍	保坂なみ(1879~1960)	1枚	絹製	明治・19~20世紀
11	紋様刺繍	保坂なみ(1879~1960)	1枚	絹製	明治・19~20世紀
12	花模様刺繍	保坂なみ(1879~1960)	1枚	絹製	明治・19~20世紀
13	袱紗 鶴宝尽模様刺繍	保坂なみ(1879~1960)	1枚	絹製	明治・19~20世紀
14	袱紗 牡丹に胡蝶模様刺繍	保坂なみ(1879~1960)	1枚	絹製	明治・19~20世紀
15	袱紗 鶴亀松竹梅模様刺繍	保坂なみ(1879~1960)	1枚	絹製	明治・19~20世紀
16	竹花入	木内半古(1855~1933)	1口	竹製	明治~昭和・19~20世紀
17	香合	木内半古(1855~1933)	1合	木製	明治~昭和・19~20世紀
18	香合	木内省古(1882~1961)	1合	木製	明治~昭和・19~20世紀
19	如意	木内省古(1882~1961)	1柄	木製	明治~昭和・19~20世紀
20	如意	木内省古(1882~1961)	1柄	木製	昭和32年(1957)
21	花喰鳥文木画帯留	木内省古(1882~1961)	1個	木製、木画、金属	明治~昭和・19~20世紀
22	花喰鳥文木画ハットピン	木内省古(1882~1961)	1本	木製、木画、金属	明治~昭和・19~20世紀
23	六花文軸首	木内省古(1882~1961)	2個	木製、木画	明治~昭和・19~20世紀
24	木画部品	木内省古(1882~1961)	5個	木製、木画	明治~昭和・19~20世紀
25	奈良絵本「竹取物語」		1冊	紙本墨書(表紙:絹地宝尽模様)	江戸時代・17世紀
26	端午	石渡風古(1891~1970)	1面	絹本着色	昭和初期
27	小雨	伊東深水(1898~1972)	1幅	絹本着色	昭和4年(1929)
28	放生司	佐々木尚文(1890~1970)	1面	絹本着色	昭和4年(1929)
29	豊穰	酒井三良(1897~1969)	1面	絹本着色	昭和4年(1929)
30	梅雨あけ	大智勝観(1882~1958)	2面	絹本着色	昭和4年(1929)
31	木瓜	山口蓬春(1893~1971)	1面	紙本着色	昭和4年(1929)
2階					
32	備前胴紐茶入	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和47~48年(c.1972-73)
33	備前肩衝茶入	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年頃(c.1974)
34	備前緋襷鬼桶水指	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年頃(c.1974)
35	須恵器水指	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和52年(1977)
36	備前菜形鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年(1974)
37	備前徳利	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和48年(1973)
38	備前ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和50年(1975)
39	備前芋徳利	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年(1974)
40	馬ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和53年(1978)
41	備前ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年(1974)
42	備前ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和50年頃(c.1975)
43	備前らっきよ徳利	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和48年(1973)
44	備前小徳利	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和52年(1977)
45	備前ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和52年頃(c.1977)

展示No	作品タイトル	作者	員数	品質形状	制作年代
1階					
46	備前緋襷皿	森陶岳(1937~)	1枚	陶器	昭和49年(1974)
47	備前緋襷鶴首瓶	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年(1974)
48	備前鶴首花入	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和55年(1980)
49	象嵌角鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年(1974)
50	彩土器	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和60年(1985)
51	象嵌折目角鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和49年(1974)
52	備前折目皿	森陶岳(1937~)	1枚	陶器	昭和49年(1974)
53	備前貝鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和58~59年(c.1983-84)
54	備前貝皿	森陶岳(1937~)	6枚	陶器	昭和50~51年(c.1975-76)
55	彩土器	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和60年(1985)
56	備前茶垵	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和62年(1987)
57	相生水指	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和55年(1980)
58	備前播鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和55年(1980)
59	備前プラチナ箔高杯	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和62年(1987)
60	備前ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和61年(1986)
61	備前ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和61年(1986)
62	備前羊水滴	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和54年(1979)
63	備前角皿	森陶岳(1937~)	6枚	陶器	昭和59年(1984)
64	備前丸鉢	森陶岳(1937~)	5個	陶器	昭和60年(1985)
65	備前半月台鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和61年(1986)
66	備前緋襷俎皿	森陶岳(1937~)	1枚	陶器	昭和61年(1986)
67	備前緋襷皿	森陶岳(1937~)	1枚	陶器	昭和55~平成元年(c.1980-89)
68	備前面取鶴首瓶	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和62年(1987)
69	備前大蕪花入	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和61年(1986)
70	備前三角花入	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和61年(1986)
71	備前扁壺	森陶岳(1937~)	1個	陶器	昭和62年(1987)
72	白瓷砧形壺	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成元年(1989)
73	黒瓷方壺	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成元年(1989)
74	黒瓷筒形器	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成元年(1989)
75	黒瓷三角壺	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成元年(1989)
76	條文壺	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成元年頃(c.1989)
77	白蕪花入	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成2年(1990)
78	象嵌丸鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成2年頃(c.1990)
79	緑釉割山椒鉢	森陶岳(1937~)	5個	陶器	平成9年(1997)
80	黒釉茶垵	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成9年(1997)
81	備前平鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成6年(1994)
82	備前ぐい呑	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成9年(1997)
83	備前茶垵	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成9年(1997)
84	備前茶入	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成11年(1999)
85	備前型打碗	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成12年(2000)
86	黒備前手鉢	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成12年(2000)
87	備前型打筒茶碗	森陶岳(1937~)	1個	陶器	平成12年頃(c.2000)

出品数：87 件

令和6(2024)年度(4)

アートウィーク東京 特別展覧会「大地と風と火と：アジアから想像する未来」

会 期：令和6(2024)年11月7日(木)～11月10日(日)

※11/4(日)はインフルエンサー内覧会

※11/5(月)はプレス内覧会、VIP内覧会

※11/6(火)はVIP内覧会

開館時間：10時～18時

開催日数：7日間 ※内覧会等3日を含む

入場者数：4,200人(1日平均600人)

観 覧 料：一般1,800円、大学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室、地下1階ホール

主 催：一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム

アーティストックディレクター：片岡真実

特別協力：公益財団法人大倉文化財団 大倉集古館

広 報 物：リーフレット29.6×62.4cm 3つ折

図 録：本文127頁(21.0×14.8cm)

執 筆：片岡真実

編 集：柴原聡子、アンドリュー・マークル

デザイン：菊地敦己、秋元桜

印刷・製本：株式会社八紘美術

発 行：アートウィーク東京

担 当：平塚泰三(学芸部長)、若林文彦(管理課長)、
福田秀明(事務局長)

展示趣旨：

「アートウィーク東京(AWT)」は、日本のコンテンポラリーアートの創造性と多様性、そしてそのコミュニティを、国内外に紹介するアニュアルイベント。AWT公式プログラムとして大倉集古館で開催される本展は、日本の戦後の抽象表現の展開を、絵画や立体はもとより、版画、写真、工芸、書、デザインなど多様なジャンルによって迎えるユニークな場となりました。しかも、展覧会を構成する作品はすべて「available(購入可能)」だという、新しい形式の展覧会でした。

片岡真実監修により、大倉集古館にて、アートウィーク東京が展覧会を開催。世界各地域から57組のアーティストによる作品を通じて、政治や経済など人為的な分類や力による統治ではなく、自然の摂理や不可視のエネルギーといった観点から世界を見つめるアジアの世界観を起点に、多様性が共存する未来を考えました。



リーフレット



図録



展示風景



令和6(2024)年度(5)

特別展 志村ふくみ 100歳記念 —《秋霞》から《野の果て》まで—

会 期：令和6(2024)年11月21日(木)
～令和7(2025)年1月19日(日)
※前期：11/21(木)～12/15(日)
※後期：12/17(火)～1/19(日)
※11/20(水)は内覧会(報道・一般)
※12/9(月)は特別ギャラリートーク
※1/20(月)は特別鑑賞会

開館時間：10時～17時 ※金曜日は～19時

開催日数：53日間 ※イベント3日含む

入場者数：17,449人(1日平均約329.2人)

観 覧 料：一般1,500円、大学・高校生1,000円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

企 画：株式会社オフィスイーヨー

特別協力：志村洋子、都機工房

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」

図 録：本文143頁(22×15cm)

監修：志村ふくみ、志村洋子

編集：森内千鶴(世界文化社)

造本装幀：岡孝治(本文デザイン：岡田由美子、森繭)

発行：世界文化社

担 当：平塚泰三(学芸部長)、高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

染織家・志村ふくみ(1924～)の100歳記念回顧展である本展は、繊織りを独自の感性と想像力で、芸術性の高い作品として発展させた人間国宝・志村ふくみの芸術思想と、自然にある無数の色を抽出し紡いだ糸を染め織るという、人と自然が共生する営みに一生を捧げる仕事を紹介しました。ふくみが染織の道に入るきっかけとなった《秋霞》、100歳を目前にして若き日を回想した《野の果てⅡ》、次世代へのメッセージを託した石牟礼道子原作の新作能「沖宮」の衣裳などを展示し、彼女の足跡を辿りました。あわせて、ふくみを染織の道に導いた母・小野豊(おのとよ 1895～1984)と民藝精神や、ふくみの芸術精神を育んだ夭折の画家である兄・小野元衛(おのもとえ 1919～47)にも焦点を当てました。31歳で染織の世界に入り、ものづくりに対する独自の芸術理念を貫きながら70年にわたって創りあげてきたふくみの作品の展覧を通じて、多くの人々に感動を与え、その精神が後世に引き継がれてゆく契機となれば幸いです。

展示構成：

- 1：エントランス
- 2：源流
- 3：琵琶湖
- 4：源氏物語と和歌
- 5：旅と文学
- 6：沖宮——疵なる国



チラシ



図録



展示風景

関連イベント

①内覧会(報道・一般)

日 時：11/20(水)13時30分～15時(報道)、
15時～17時(一般)
参加人数：報道26人、一般86人(合計112人)

②講演会「志村ふくみの染めと織り」

日 時：12/15(日)14時～15時
講 師：桑山俊道(元滋賀県立近代美術館学芸員)
場 所：大倉集古館 地下1階ホール
料 金：無料(要入館券)
参加人数：65人



②講演会

③特別ギャラリートーク

日 時：12/17(火)14時～15時
担 当：外山もえこ(染織家・アルスシムラ講師)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：無料(要入館券)
参加人数：120人



③特別ギャラリートーク

④ギャラリートーク

日 時：11/28(木)、1/8(金)14時～15時
担 当：平塚泰三(学芸部長)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：無料(要入館券)
参加人数：90人(11/28)、103人(1/8)

⑤雅楽バサラ(笙、箏、龍笛)演奏会

日 時：1/9(木)18時～19時
出 演：岡久美子(笙)、島田皓史(箏)、大谷忠平(龍笛)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：3,500円
参加人数：58人



⑤雅楽バサラ演奏会

⑥オークラ東京関連イベント「志村洋子出版記念特別講演会」

日 時：11/30(土)10時30分～12時30分
講 師：志村 洋子(染織家・随筆家)
場 所：オークラ東京「平安の間」
参加人数：94人

⑦オークラ東京関連イベント「志村洋子ギャラリートーク」

日 時：11/30(土)17時15分～18時30分
講 師：志村 洋子(染織家・随筆家)
場 所：大倉集古館 展示室
参加人数：42人

⑧特別ギャラリートーク2

日 時：12/9(火)13時30分～15時
担 当：平塚泰三(学芸部長)
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：2,000円
津田塾大学同窓会：35人

⑨特別鑑賞会

日 時：1/20(月)13時30分～15時30分
場 所：大倉集古館 展示室
料 金：1,500円
東京商工会議所港支部：108人

⑩蔵重伸(池坊)生け花展示

日 時：令和6年1/1(水・祝)～1/13(月・休)
場 所：大倉集古館 入口・1階展示室
協 力：華道家元 池坊



⑩生け花展示

作品リスト

展示No	シリーズ名	名称	時代・年代	技法・素材	展示替
1	源流	秋霞	昭和33年(1958)	紬織／絹糸、藍	
2	資料	つなぎ糸			
3	源流	吉隠 作:小野豊(1895-1984)	昭和35(1960)年頃	紬織／絹糸、藍	前期
4	源流	茶地格子 作:小野豊	昭和35(1960)年頃	紬織／絹糸、渋木、藍、カテキュー	前期
5	源流	近江の帯1	昭和35(1960)年頃	紬織、綴織／絹糸、藍、刈安、渋木、カテキュー	後期
6	源流	近江の帯2	昭和35(1960)年頃	紬織、綴織／絹糸、藍、刈安、渋木、カテキュー	後期
7	源流	黒柿紙刀 作:黒田辰秋(1904-82)	不詳	黒柿	
8	源流	拭漆朴紙刀 作:黒田辰秋	不詳	朴の木	
9	源流	染付芍薬文小壺 作:富本憲吉(1886-1945)	不詳	磁器	
10	エントランス	野の果てⅡ	令和5年(2023)	紬織／絹糸、紫根、紅花、春草	
11	エントランス	《野の果て》手稿 文:志村ふくみ 画:小野元衛(1919~47)	昭和18年(1943)	水彩、紙	
12	源流	壺 作:小野元衛	1930年代後半	陶器	
13	源流	壺 作:小野元衛	1930年代後半	陶器	
14	エントランス	襲色目屏風	平成11年(1999)	紬織／絹糸	
15	エントランス	母衣曼荼羅Ⅱ	平成29年(2017)	紬織／絹糸、藍、刈安、玉葱	
16	資料	『白夜に紡ぐ』特装本 装幀及び製本:山室眞二(1939~)	平成21年(2009)		
17	資料	日記	平成24~26年(2012~14)		
18	源流	光の道	昭和62年(1987)	紬織／絹糸、藍、渋木	前期
19	琵琶湖	鳩の湖	昭和34年(1959)	紬織／絹糸、藍、刈安、茜	後期
20	琵琶湖	雪の湖	平成19年(2007)	紬織／絹糸、藍	前期
21	琵琶湖	空と湖	平成19年(2007)	紬織／絹糸、銀箔、銀糸、藍	後期
22	琵琶湖	月の湖	昭和60年(1985)	紬織／絹糸、藍、玉葱	前期
23	琵琶湖	歷程	平成11年(1999)	紬織／絹糸、藍、梔子	後期
24	琵琶湖	水の想い出	平成15年(2003)	紬織／絹糸、藍、臭木、梔子	前期
25	琵琶湖	奥琵琶	平成19年(2007)	紬織／絹糸、金箔、藍、刈安	後期
26	琵琶湖	鳩の湖Ⅱ	昭和40年(1965)	紬織／絹糸、藍、刈安	前期
27	源流	色と光のこころみ	昭和45年(1970)	紬織／絹糸、紫根、茜、刈安	後期
28	源流	七夕	昭和35年(1960)	紬織／絹糸、茜、刈安、藍	前期
29	源流	翁格子	昭和35年(1960)	紬織／絹糸、渋木、藍、玉葱、茜、蘇芳	後期
30	源流	早蕨	昭和35(1960)年頃	藍、刈安、矢車附子	前期
31	源流	花群星	平成7年(1995)	紬織／絹糸、藍	後期
32	源氏物語と和歌	勾欄	平成15年(2003)	紬織／絹糸、紫根、アカメガシワ、臭木、百日紅、黒	前期
33	源氏物語と和歌	初音	平成22年(2010)	紬織／絹糸、蘇芳、紅花、蓮	後期
34	源氏物語と和歌	夕霧	平成13年(2001)	紬織／絹糸、橡、黒	前期
35	源氏物語と和歌	三夕(橘)	平成23年(2011)	紬織／絹糸、白樫、藍、臭木、茜、紫根、玉葱	後期
36	源氏物語と和歌	滯標	平成16年(2004)	紬織／絹糸、藍、刈安、渋木	前期
37	源氏物語と和歌	若紫	平成19年(2007)	紬織／絹糸、紫根、茜	後期

展示No	シリーズ名	名称	時代・年代	技法・素材	展示替
38	源氏物語と和歌	天蚕の夢	平成7年(1995)	天蚕糸	前期
39	旅と文学	風露	平成12年(2000)	紬織／絹糸、紅花、藍、刈安、紫根	後期
40		小裂帖(春夏秋冬) 前期:秋冬 後期:春夏	平成24年(2012)	紬織／絹糸	前後期 で入替
41		雛形(無地)	平成18年(2006)	紬織／絹糸	前期
42		雛形(模様)	平成18年(2006)	紬織／絹糸	後期
43,44	資料	デザイン画			
45	資料	色系			
46	沖宮	狩衣《竜神》 監修:志村ふくみ 制作:都機工房	平成30年(2018)	紬織／絹糸、藍、梔子、玉葱	前期
47	沖宮	舞衣《大妣君》 監修:志村ふくみ 制作:都機工房	令和2年(2020)	紬織／絹糸、紫根、玉葱、梔子、藍	後期
48	沖宮	水衣《水瑠璃》 監修:志村ふくみ 制作:都機工房	平成29年(2017)	紬織／絹糸、臭木	前期
49	沖宮	小袖《Francesco》 監修:志村ふくみ 制作:都機工房	令和2年(2020)	紬織／絹糸、臭木、藍	後期
50	沖宮	長絹《紅扇》 監修:志村ふくみ 制作:都機工房	平成30年(2018)	紬織／絹糸、紅花、藍、刈安	前期
51	沖宮	舞衣《紅扇》 監修:志村ふくみ 制作:都機工房	令和3年(2021)	紬織／絹糸、紅花、藍、刈安、臭木	後期
52	旅と文学	フローラ	平成26年(2014)	紬織／絹糸、蘇芳、白樫	前期
53	旅と文学	深緑	平成28年(2016)	紬織／絹糸、刈安、藍	後期
54	旅と文学	レクイエムⅠ	平成27年(2015)	紬織／絹糸、紫根、玉葱、白樫	前期
55	旅と文学	朱茜	平成27年(2015)	紬織／絹糸、一位	図録のみ
56	旅と文学	青孔雀	平成26年(2014)	紬織／絹糸、刈安、藍、紫根	前期
57	旅と文学	薫梅	平成27年(2015)	紬織／絹糸、梅	後期
58	源氏物語と和歌	柳の国	平成24年(2012)	紬織／絹糸、カラスノエンドウ、紫根、刈安、藍	後期
59	旅と文学	舞姫	平成25年(2013)	紬織／絹糸、紅花、紫根、刈安、藍、梔子	前期
60	旅と文学	悲歌	平成24年(2012)	紬織／絹糸、藍、玉葱	後期
61	旅と文学	諸国遊行	平成26年(2014)	紬織／絹糸、藍	前期
62	旅と文学	クワイツェル・ソナタ	平成25年(2013)	紬織／絹糸、黒、刈安	後期
63	旅と文学	流砂	平成20年(2008)	紬織／絹糸、玉葱、渋木	前期
64	旅と文学	黒船	平成21年(2009)	紬織／絹糸、藍、渋木、玉葱、刈安	後期

出品数：64件

令和6 (2024) 年度 (6)
企画展 武士の姿・武士の魂

会 期：令和7(2025)年1月28日(火)～3月23日(日)

前期：1月28日(火)～2月24日(月・休)

後期：2月26日(水)～3月23日(日)

開館時間：10時～17時 ※金曜日は～19時

開催日数：48日間

入場者数：7,689人(1日平均約160.2人)

観覧料：一般1,000円、大学・高校生800円、
中学生以下無料

会 場：大倉集古館 1階展示室、2階展示室

主 催：公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

協 力：株式会社ホテルオークラ、特種東海製紙株式会社、
大成建設株式会社

広 報 物：ポスター(B2)、チラシ(A4)

配付資料：「作品リスト」「パンフレット」

パンフレット：A3 2つ折2枚重ね 8ページ

執筆：四宮美帆子(主任学芸員)

デザイン・制作・印刷：株式会社精興社

担 当：四宮美帆子(主任学芸員)、高野明子(学芸補助)

展示趣旨：

平安時代後期、武士が歴史の舞台に上り、後に国を支配するようになって以降、絵画には武士の姿が描かれるようになります。戦の様子を描く合戦図、武士の頭領の姿を描く武人肖像画などとともに、武力や権力を象徴するモチーフなども描かれるようになりました。本展覧会第1章では、当館所蔵品の中でも異彩を放つ前田青邨《洞窟の頼朝》を筆頭に、江戸時代から昭和にかけて、武士の姿を描いた作品と、靈感をもち武士の魂として大切にされてきた刀剣を展示し、時代ごとの表現をお楽しみいただきました。第2章では、武力や権力の象徴であり、威信財でもある鷹を描いた作品を取り上げ、鷹図が武士の表象としてどのように描かれ、荘厳され、利用されたかを探りました。当館所蔵品を中心に様々な武の表現をお楽しみいただきました。

展示構成：

第一章：武者の姿と武具

第二章：鷹図の世界



チラシ



パンフレット



展示風景

関連イベント

①講演会「頼朝像にみる鎧・兜」

日 時：3/1(土)14時～15時
 講 師：池田宏(東京国立博物館 名誉館員)
 場 所：大倉集古館 地下1階ホール
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：61人



①講演会

②ギャラリートーク

日 時：2/4(火)、2/14(金)、3/7(金)各14時～15時
 担 当：四宮美帆子(主任学芸員)
 場 所：大倉集古館 展示室
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：25人(2/4)、20人(2/14)、35人(3/7)



②ギャラリートーク

③大倉集古館の歴史と建物(スライドトーク&建物ツアー)

日 時：2/21(金)14時～15時
 担 当：四宮美帆子(主任学芸員)
 場 所：大倉集古館 展示室
 料 金：無料(要入館券)
 参加人数：46人



③ スライドトーク&建物ツアー

作品リスト

展示No	指定・名称	作者	員数	時代・地域	所蔵	備考
1-1	本朝歴史絵(巻3)	佐藤正持	5冊のうち	江戸時代・19世紀		
1-2	○徳川家康・天海像		2幅	江戸時代・17世紀		
1-3	本朝歴史絵(巻5)	佐藤正持	5冊のうち	江戸時代・19世紀		
1-4	脇指 銘(葵紋)以南蛮鑑於武州江戸 ／越前康継	康継	1口	江戸時代・17世紀		
1-5	脇指 銘氷心子秀世／天保九年二月日	氷心子秀世	1口	江戸時代・天保9年(1838)		
1-6	○短刀 銘相州住秋廣／應安三	秋廣	1口	南北朝・応安3年(1370)		
1-7	◎短刀 銘則重	則重	1口	鎌倉時代・14世紀		
1-8	楠公図	土佐光成	1幅	江戸時代・17～18世紀		
1-9	修羅道	前田青邨	1幅	昭和・20世紀	個人蔵	
1-10	虫太平記絵巻(上巻)		2巻のうち	江戸時代・17世紀		巻替あり
1-11	●隨身庭騎絵巻		1巻	鎌倉時代・13世紀		後期
1-12	一の谷合戦絵巻		1巻	江戸時代・17世紀		巻替あり
1-13	太刀 国俊	国俊	1口	鎌倉時代・13世紀		
1-14	源義家雁行乱知伏兵	小山栄達	1幅	大正～昭和・20世紀	個人蔵	
1-15	御嶽神社赤威青	前田青邨	1面	昭和31年(1956)頃	東京国立近代美術館	
1-16	赤絲威大鎧(複製)		1領	平成2(1990)年 (原品:平安時代・12世紀)	千葉県立中央博物館 大多喜城分館	
1-17	◎洞窟の頼朝	前田青邨	2曲1隻	昭和4年(1929)		
1-18	『講談社の絵本 加藤清正』	絵:小山栄達 大日本雄弁会講談社発行	1冊	昭和12年(1937)	個人蔵	
1-19	『講談社の絵本 忠臣 菊池武時』	絵:小山栄達 大日本雄弁会講談社発行	1冊	昭和16年(1941)	個人蔵	
1-20	吉野山合戦	小山栄達	6曲1双	大正～昭和・20世紀	㈱喫茶サンキュー	前期
1-21	◎黄瀬川陣	安田鞞彦	6曲1双	昭和15・16年(1940・41)	東京国立近代美術館	後期
2-1	◎賀茂競馬屏風	久隅守景	6曲1双のうち	江戸時代・17世紀		
2-2	繫馬図		1幅	安土桃山時代・16世紀		
2-3	武家弓競図屏風		2曲1隻	江戸時代・17世紀	摘水軒記念文化振興財団	
2-4	将軍家駒場鷹狩図巻	榊原長俊	1巻	江戸時代・天明6年(1786)	東京国立博物館	
2-5	鶴に鷹図	南溪	1幅	江戸時代・19世紀	摘水軒記念文化振興財団	
2-6	鷹図	患隆	1幅	室町～安土桃山時代・16世紀		
2-7	鷹飼図巻		1巻	江戸～明治時代・17～19世紀	東京国立博物館	巻替あり
2-8	洋犬・鷹図	長谷川等意	2幅	江戸時代・17世紀	摘水軒記念文化振興財団	
2-9	鷹狩犬図・鷹匠図	阪昌文	3幅	江戸時代・天明7年(1787)	東京国立博物館	前期
2-10	鷹狩図	狩野典信	3幅	江戸時代・18世紀	東京国立博物館	後期
2-11	鷹十二顔之図	新庄七兵衛	1冊	江戸時代・18世紀	東京国立博物館	
2-12	架鷹図	三谷盛尹	2幅	江戸時代・18世紀	摘水軒記念文化振興財団	
2-13	鷹図	英岳景洪賛	1幅	安土桃山～江戸時代・16～17世紀		
2-14	架鷹図屏風		6曲1隻	江戸時代・17世紀	摘水軒記念文化振興財団	
2-15	鷹図	曾我二直庵	12幅のうち	江戸時代・17世紀	個人蔵	場面替えあり
2-16	鷲鳥図屏風		6曲1双	江戸時代・17世紀	東京国立博物館	前期
2-17	鷹図屏風		6曲1隻	室町～安土桃山時代・16世紀	東京国立博物館	後期
2-18	松に鷹図屏風		6曲1隻	安土桃山～江戸時代・17世紀	東京国立博物館	後期

出品数：39件 ●は国宝 ◎は重要文化財 ○は重要美術品

2. その他

令和 5(2023)年度

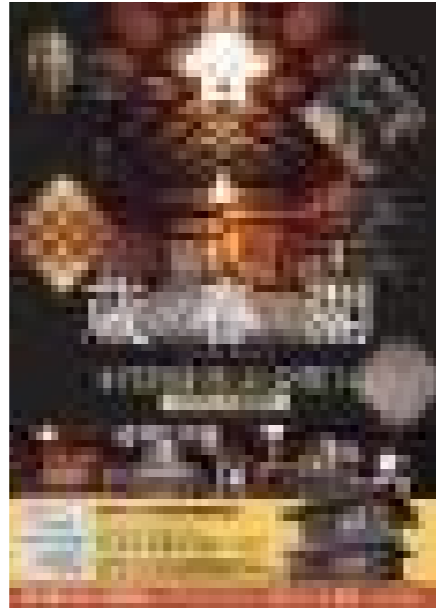
(1) 蔵春閣寄贈

大倉文化財団から新発田市へ、旧大倉喜八郎別邸貴賓館の「蔵春閣」の寄贈が行われた。

令和 5年 3月 28日(火)引き渡し、4月 28日(金)蔵春閣開館記念式典・祝賀会開催。翌 29日(土)オープン。



開館記念式典



(2) 大倉集古館受賞

公益財団法人 ロングライフビル推進協会「BELCA 賞ベストリフォーム部門」受賞



令和 6(2024)年度

(1) 蔵春閣開館 1 周年記念イベント

蔵春閣開館 1 周年を記念して、大倉集古館が所蔵する「日本美術の王道」ともいえる作品群をデジタル映像で紹介するイベント「蔵春閣開館 1 周年記念 大倉集古館コレクション展「蔵春閣デジタル大博覧会」」が令和 6年 4月 27日(土)～5月 19日(月)に新発田市の蔵春閣で開催された。集古館作品のプロジェクションマッピング、特別記念公演「オークラウロの演奏会」などが行われた。



3. 広報・普及活動

(1) 年間スケジュール制作

令和 5(2023)年度



令和 6(2024)年度



(2) ミュージアムグッズ制作

令和 6(2024)年度

- ① 絵はがき(3 種制作)
 - 「夜桜(左隻)」(長葉書)
 - 「洞窟の頼朝」(普通葉書)(長葉書)
- ② クリアファイル
 - 「洞窟の頼朝」
- ③ マグネット(4 種)
 - 「夜桜(左隻)」
 - 「木菟」
 - 「古今和歌集序」
 - 「扇面散図屏風(右隻)」



① 絵葉書

② クリアファイル(表・裏)



③ マグネット

4. 資料特別利用

(1) 所蔵作品の貸出

年度	指定	作品名	作者	展覧会場名	展覧会会期	展覧会名
令和5年度 (2023年度)		「鶴のとも」(版本)、 「狂歌あふひ艸」(版本)		新発田市立中央図書館	2023年4月29日(土)～8月31日(木)	令和5年度春季特別展 喜八郎さんからの贈り物
		製楮図鑑	岡野洞山	島根県立石見美術館	2023年7月8日(土)～8月28日(月)	没後150年 山本栞谷と津和野藩の絵師たち
	重要 文化財	鶴岡図屏風	狩野探幽	岐阜市歴史博物館	2023年8月4日(金)～9月24日(日)	企画展 鶴岡～篝火がおりなす伝統漁～
		Kinesis No.702 (water scope)	間島秀徳	茨城県天心記念 五浦美術館	2023年9月13日(水)～11月26日(日)	企画展 間島秀徳展 天地無常
		子犬図(雑画帖より)	英一蝶	大和文華館	2023年10月7日(土)～11月12日(日)	特別展 いぬねこ色彩 —東アジアの犬と猫の絵画—
	国宝	古今和歌集序		東京国立博物館	2023年10月11日(水)～12月3日(日)	特別展 やまと絵 —受け継がれる王朝の美—
	国宝	隨身庭騎絵巻				
		乗輿舟	伊東若冲	福井県立歴史博物館	2023年10月21日(土)～11月26日(日)	特別展 描かれた川と人々 ～越前・若狭の利水の歴史～
	国宝	古今和歌集序	藤原定実	根津美術館	2023年11月3日(金・祝)～12月3日(日)	特別展 北宋書画精華
		刀 銘以南蛮鐵於駿州 越前康継	江戸康継	静岡市美術館	2023年11月3日(金・祝)～12月13日(水)	NHK大河ドラマ特別展 どうする家康
令和6年度 (2024年度)		法蓮像		中津市歴史博物館	2024年3月16日(土)～5月6日(月・祝)	特別展 開発!(KAIHOTSU) —中津の古代から中世—
		横山大観	瀟湘八景	福井県立美術館	2024年4月26日(金)～6月2日(日)	特別展覧会 北陸新幹線福井・ 敦賀開業企画 横山大観展
		雑画帖	英一蝶	サントリー美術館	2024年9月18日(水)～11月10日(日)	没後300年記念 英一蝶 —風流才子、浮き世を写す—
		大井川富士山図	英一蝶			
		奔潭	河合玉堂	広島県立美術館	2024年10月4日(金)～12月1日(日)	近代日本画の真髄 児玉希望 千変万化、驚異の筆力
		自在置物 鯉	明珍吉久			
		自在置物 蟹		福井市立 郷土歴史博物館	2024年10月19日(土)～12月1日(日)	特別展 鉄の名工 越前明珍
		自在置物 蝶	明珍宗安			
		自在置物 蠅螂				
		方格規矩四神鏡				
	護摩壇図		アートウィーク東京	2024年11月7日(木)～11月10日(日)	AWT FOCUS 大地と風と火と： アジアから想像する未来	
	古丹波壺					

(2) 画像データの貸出

令和5(2023)年度：47件

令和6(2024)年度：60件

5. 所蔵品の保存・修理

年度	指定	作品名	作者	保存・修理内容	備考
令和5年度 (2023年度)	重要 文化財	石清水八幡曼荼羅図		解体修理	2022年度 2023年度
		本朝歴史絵	佐藤正持	虫食い補修	
		胡人俑		亀裂補修	
		朱地麒麟文螺鈿卓		螺鈿の剥落補修	
		紅白段業平菱菊模様唐織		縫い目ほつれ直し等	2022年度 2023年度
		紫地葡萄蔦模様長絹		縫い目ほつれ直し等	2022年度 2023年度
		衣装「裾」		縫い目ほつれ直し等	
		偶感	大倉喜七郎	表装	
		仙石原	大倉喜七郎	表装	
		「感涙更新」額	松本芳翠他	剥離止め	
令和6年度 (2024年度)		四季風景図棚	土佐光孚	小襖の棧と、絵絹の遊離補修	

Ⅲ. 資料

1. 入場者数

年度	展覧会会期 ※内覧会等は除く	展覧会名	開催日数	入場者数	一日平均	備考
令和5年度 (2023年度)	4月4日(火)～6月25日(日)	特別展 愛のヴィクトリアン・ジュエリー ー華麗なる英国のライフスタイルー	73日	14,363人	約196.8人	内覧会 1日含む
	8月8日(火)～10月22日(日)	特別展 畠中光亨コレクション 恋し、こがれた インドの染織ー世界にはばたいた布たちー	68日	12,997人	約191.1人	内覧会 1日含む
	11月2日(木)～11月5日(日)	アートウィーク東京 特別展覧会 ART FOCUS	7日	4,410人	630.0人	内覧会等 3日含む
	11月14日(水)～2024年1月14日(日)	企画展 大倉組商会150周年 偉人たちの邂逅ー近現代の書と言葉ー	52日	4,408人	約84.8人	内覧会 1日含む
	1月23日(火)～3月24日(日)	企画展大倉集古館の春 ー新春を寿ぎ、春を待つー	56日	9,676人	約172.8人	特別イベント 2日含む
合計			256日	45,854人	約179.1人	

年度	展覧会会期 ※内覧会等は除く	展覧会名	開催日数	入場者数	一日平均	備考
令和6年度 (2024年度)	4月9日(火)～6月9日(日)	特別展 浮世絵の別嬪さん ー歌麿、北斎が描いた春画とともにー	56日	11,799人	約210.7人	内覧会等 2日含む
	6月25日(火)～8月12日(月・休)	特別展 大成建設コレクション もうひとりのル・コルビュジエー絵画をめぐってー	44日	14,522人	約330.0人	内覧会等 2日含む
	9月14日(火)～10月20日(日)	企画展 寄贈品展	32日	4,450人	約139.1人	
	11月7日(木)～11月10日(日)	アートウィーク東京 特別展覧会 ART FOCUS	7日	4,200人	600.0人	内覧会等 3日含む
	11月21日(木)～2025年1月19日(日)	特別展 志村ふくみ100歳記念 ー《秋霞》から《野の果て》までー	53日	17,449人	約329.2人	内覧会等 3日含む
	2025年1月28日(火)～3月23日(日)	企画展 武士の姿・武士の魂	48日	7,689人	約160.2人	
合計			240日	60,109人	約250.5人	

2. 施設概要

施設名：大倉集古館

所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3

電話：03-5575-5711

F A X：03-5575-5712

ウェブサイトアドレス：https://www.shukokan.org/

延床面積：1948.13㎡

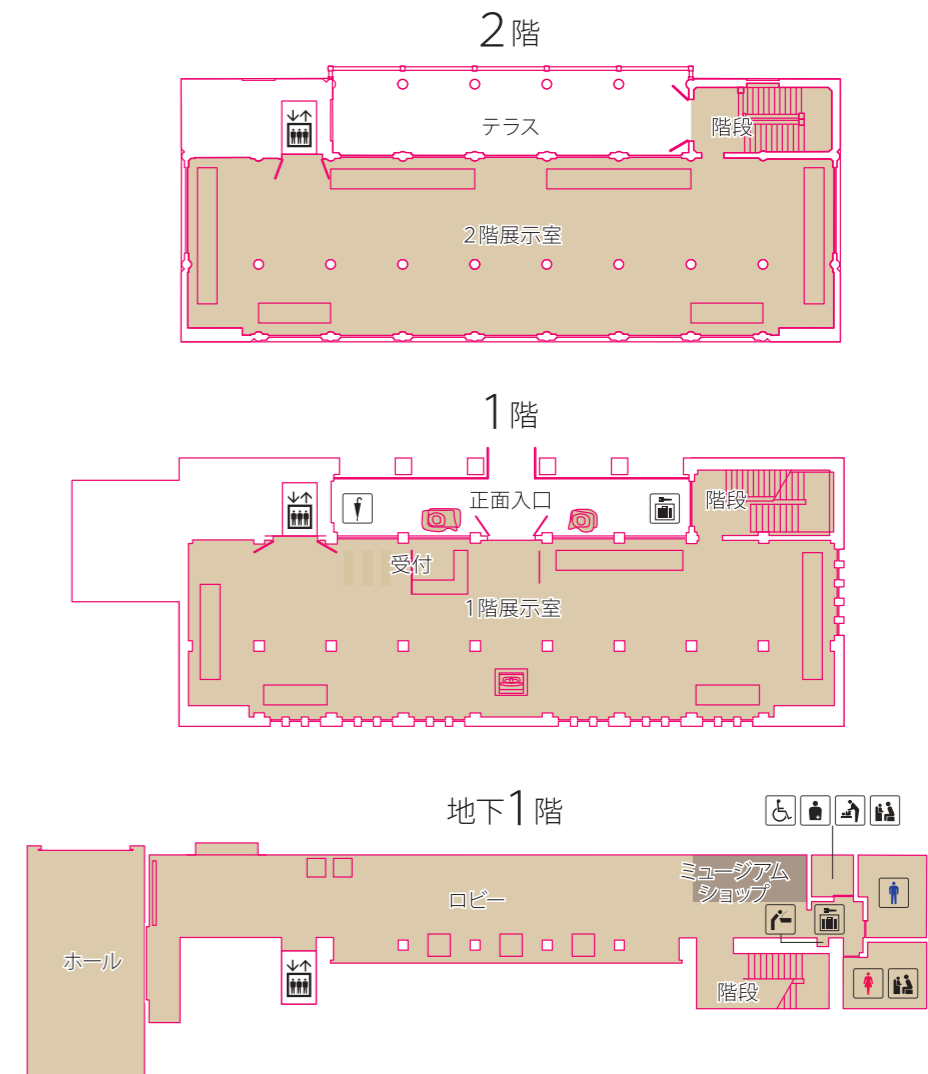
主体構造：地上RC造・地下RC造

階数：地上2階、地下1階

1階 展示室：奥行 9,090mm、幅 32,724mm、
天井高 4,545mm

2階 展示室：奥行 9,090mm、幅 32,724mm、
天井高 4,034mm

地階 ロビー等：奥行 5,000mm、幅 10,886mm、
天井高 3,400mm



Ⅲ. 資料

3. 利用案内

※2024年度より改訂(2023年度は前年度と同じ)

■開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)

※金曜日は19:00まで(入館は18:30まで)[2024年度のみ]

■休館日：月曜日(休日の場合は翌平日)、展示替期間、年末

■入館料：一般：1,000円(特別展は1,500円)
大学生・高校生 800円(特別展は1,000円)

※学生証を提示。

中学生以下 無料

※同会期中のリピーターは500円引き

(一般、大学生・高校生料金お支払いの方のみ。

前回ご来館のチケット持参)

※20名様以上の団体は100円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方と同伴者1名は無料

※お着物(和装)でご来館の方は300円引き

(各割引併用不可)

■アクセス：

○東京メトロ南北線/六本木一丁目駅 中央改札口(泉ガーデン方面)より5分

○東京メトロ日比谷線/神谷町駅 4b出口より7分

○東京メトロ日比谷線/虎ノ門ヒルズ駅 A2a出口より8分

○東京メトロ銀座線・南北線/溜池山王駅 13番出口より10分

○東京メトロ銀座線/虎ノ門駅 3番出口より10分

■オークラ東京とのセット鑑賞券

・ランチセット鑑賞券 5,500円
(2024年6月1日より6,000円)

・茶菓セット鑑賞券 3,000円
(2024年6月1日より3,100円)



■ミュージアムバスポート

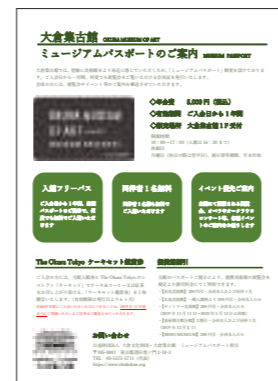
入会日から一年間、何度でも展覧会をご覧いただける会員証を発行。

会員の方には、展覧会やイベント等のご案内を郵送。

年会費 5,500円(税込み)、入会日から1年間



ミュージアムバスポートカード



4. 役員名簿

令和5年(2023)度

役職	名前
理事長(代表理事)	村上 勝彦
理事	岩井 国立
理事	荻田 敏宏
理事	山内 隆司
理事	三澤 清利
理事	伊藤 隆男
理事	金井 克行
理事	福田 秀明
理事	西岡 康宏
監事	朝倉 敏守
監事	澁谷 文敏
評議員	大倉 昭彦
評議員	平田 博資
評議員	安本 昌司
評議員	牟田 忠弘
評議員	高橋 智
評議員	大島 一宏
評議員	岩崎 民夫
評議員	大倉 美子
評議員	梅原 真次
名誉館長	大倉 喜彦
特別顧問	大崎 磐夫

(2024年3月31日時点)

5. 職員名簿

令和5年(2023)度

役職	名前
館長	西岡 康宏
学芸部長	平塚 泰三
主任学芸員	田中 知佐子
主任学芸員	四宮 美帆子
学芸補助	高野 明子
事務局長兼管理部長	福田 秀明
庶務課長	若林 文彦
管理部	下間 祐子
管理部	白川 一郎

(2024年3月31日時点)

令和6年(2024)度

役職	名前
理事長(代表理事)	村上 勝彦
理事	岩井 国立
理事	荻田 敏宏
理事	山内 隆司
理事	三澤 清利
理事	伊藤 隆男
理事	福田 秀明
理事	西岡 康宏
監事	朝倉 敏守
評議員	大倉 昭彦
評議員	安本 昌司
評議員	牟田 忠弘
評議員	高橋 智
評議員	大島 一宏
評議員	岩崎 民夫
評議員	大倉 美子
評議員	梅原 真次
評議員	岡本 英男
名誉館長	大倉 喜彦

(2025年3月31日時点)

令和6年(2024)度

役職	名前
館長	西岡 康宏
副館長	澁谷 文敏
学芸部長	平塚 泰三
主任学芸員	四宮 美帆子
学芸補助	高野 明子
事務局長兼管理部長	福田 秀明
庶務課長	若林 文彦
管理部	下間 祐子
管理部	白川 一郎

(2025年3月31日時点)